



葛巻町

防災マップ

保存版

令和8年 改訂版

 はじめに	1	 わが家の防災対策	9・10
 警戒レベルを用いた避難情報	2	 避難施設一覧	11・12
 防災気象情報	3・4	 わが家の「緊急・医療情報」防災メモ	13
 洪水・浸水害について	5	 葛巻町全体図	14
 土砂災害について	6	 葛巻町防災マップ 1～15 中心部拡大図 15～46	
 地震対策について	7	 各種情報・奥付	裏表紙
 非常時持出品および備蓄品	8		



はじめに

町民の皆さまへ

近年、気候変動の影響により、豪雨や台風などによる災害が激甚化・頻発化し、全国各地で甚大な被害が発生しています。

当町におきましても、平成18年10月、発達した低気圧の影響により暴風や大雨となり、袖山観測所の降水量は、72時間で382mmと、観測史上1位を記録する大雨となりました。この大雨による被害総額は30億円を超えるとともに、町では、住民の安全確保を重視し、初めて避難勧告を発令するなど、かつてない災害に見舞われました。

また、平成23年9月の台風15号や、観測史上初となる東北地方の太平洋側から上陸した平成28年8月の台風10号、令和4年8月の大雨災害など、台風や低気圧による自然災害が度々発生しています。さらに、令和6年8月には、前線や湿った空気の影響により大気の状態が非常に不安定になり、当町を含む岩手県内陸に線状降水帯が発生し、局地的な大雨を観測するなど、いつ、どこで災害が発生してもおかしくない状況となっています。

「災害から尊い命を守る」ためには、一人ひとりが自ら取り組む「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合う「共助」、国や地方公共団体などによる「公助」が重要だと言われています。

その中でも基本となるのが「自助」です。「自らの命は自らが守る」という意識を持ち、一人ひとりが自分の身の安全を守ることです。特に災害が発生した際には、まず、自分が無事であることが最も重要であり、いつどこで起きるかわからない災害に備え、身の安全の守り方を知っておくことが必要です。

この度、改訂いたしました「葛巻町防災マップ」には、町内各所の土砂災害警戒区域や洪水災害浸水想定区域のほか、避難施設一覧や防災気象情報など、自分の命を守る上で必要な情報が多く掲載されています。

町民の皆さまにおかれましては、この防災マップを有効にご活用いただき、自助・共助・公助を基本とした「災害から尊い命を守る」ための一助にいただければ幸いです。

町といたしましても、町民の皆さまが安心して生活することができるよう、より一層、安全・安心なまちづくりに努めて参りますので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年5月
葛巻町長 鈴木 重 男

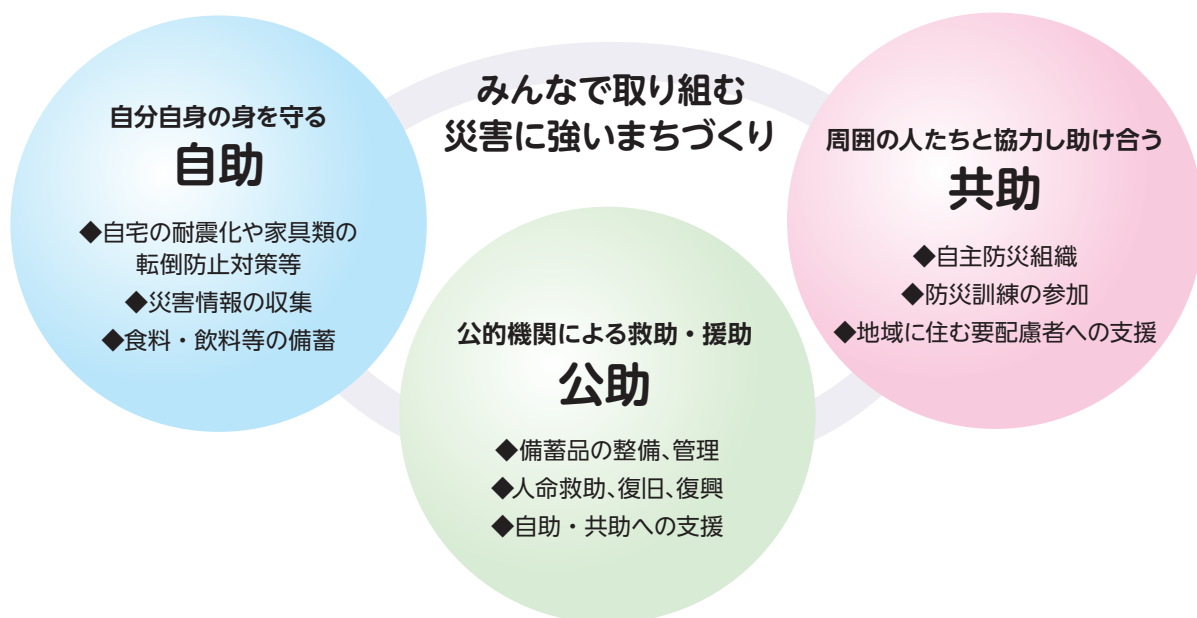
地域の防災力を高める 自助・共助・公助

地震や洪水、台風等の自然災害による被害は、わたしたちの日ごろの努力によって減らすことが可能です。

行政による「公助」はいうまでもありませんが、自分の身は自分で守る「自助」、地域や身近にいる人どうしが助け合う「共助」こそが、災害による被害を少なくするための大きな力となります。ただし、身のまわりの人を助けるには、まず自分自身が無事でなければなりません。「自助」があつての「共助」です。

災害が起きてからでは間に合いません。

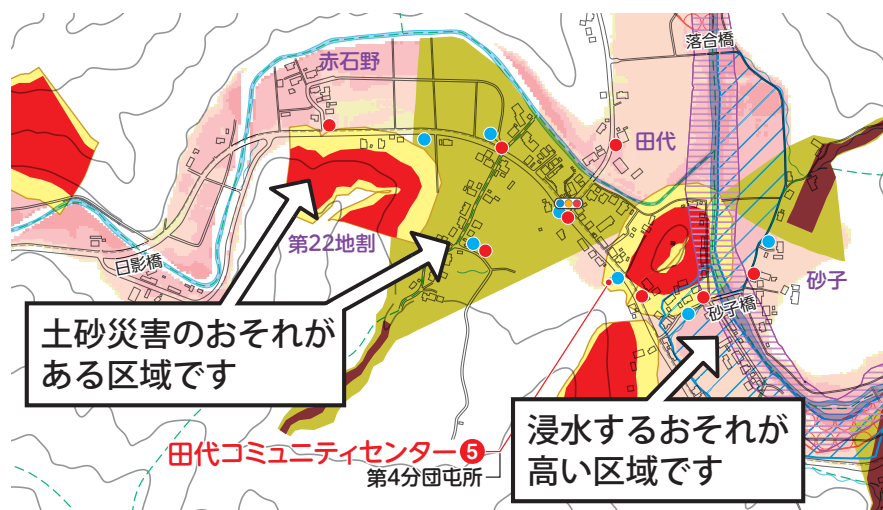
いざという時に備え、適切な行動ができるよう日常的に防災を意識しましょう。



出典：内閣府ホームページ(<https://www.bousai.go.jp/index.html>)を加工して作成

防災マップの見方

必ず確認してください



この防災マップは、災害時に自分の命を守るために、住民の皆さまに災害に関する正しい知識を理解していただくことを目的として作られたものです。

各マップ頁には、土砂災害警戒区域、河川の洪水災害浸水想定区域、過去の災害被害区域、災害時の避難場所、避難所の情報などが掲載されています。

これらの情報のマップ頁への表示方法については、各マップ頁左側にある凡例をご覧ください。

！警戒レベルを用いた避難情報

警戒レベルについて 警戒レベルは、水害や土砂災害に備えて住民がとるべき行動をお知らせするために5段階にレベル分けしたもので、町が避難情報と合わせて出す情報です。

避難情報等 (警戒レベル)				大雨や土砂災害の情報 (令和8年5月より)	
警戒 レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)	
				大雨	土砂災害
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！ ・警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。 ・警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません！ ・ただし、警戒レベル5は、町が災害の発生・切迫を把握できた場合に、可能な範囲で発令される情報であり、必ず発令される情報ではありません。	緊急安全確保	5 相当 レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害 特別警報
~~~~~ < 警戒レベル4までに必ず避難！ > ~~~~~					
4	災害の おそれ高い	<b>危険な場所から全員避難</b> ・警戒レベル4避難指示は、立退き避難に必要な時間や日没時間等を考慮して発令される情報で、このタイミングで危険な場所から避難する必要があります。	避難指示	4 相当 レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害 危険警報
3	災害の おそれあり	<b>危険な場所から高齢者等は避難</b> ・「高齢者等」は障がいのある人や避難を支援する者も含んでいます。 ・さらに、高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難するタイミングです。	高齢者等避難	3 相当 レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害 警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・ 高潮注意報	2 相当 レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害 注意報
1	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1 相当 早期注意情報	

※町長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

避難指示等が発令されたら速やかに避難行動をとる必要がありますが、突発的な災害では、発令が間に合わないこともあります。避難指示等が発令されていなくても、警戒レベルに相当する気象情報を認識し、危険を感じたら早めに避難行動をとってください。大切なことは「自分で判断する」ということです。

**警戒レベル5**はすでに災害が発生・切迫している状況です。また、必ず発令されるものではありません。

**警戒レベル3 高齢者等避難**や**警戒レベル4 避難指示**で、地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。



(ページ内の図表は内閣府・気象庁ホームページより抜粋、編集)

# i 防災気象情報

## 特別警報

警報の発表基準をはるかに超える大雨や大津波等が予想され、重大な災害の起こるおそれが著しく高まっている場合、気象庁は「特別警報」を発表し最大級の警戒を呼びかけます。

### ◆気象等に関する特別警報の発表基準

現象の種類	基準	
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合	
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合
高潮		高潮になると予想される場合
波浪		高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	

※発表にあたっては、降水量、積雪量、台風の中心気圧、最大風速などについて過去の災害事例に照らして算出した客観的な指標が設けられており、これらの実況および予想に基づいて気象庁が判断します。

### ◆地震(地震動)・火山・津波に関する特別警報の発表基準

現象の種類	基準
地震(地震動)	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合(緊急地震速報(震度6弱以上)を特別警報に位置づける)
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合(噴火警報(噴火警戒レベル4以上)及び噴火警報(居住地域)を特別警報に位置づける)
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合(大津波警報を特別警報に位置づける)

※これらの特別警報は、名称に「特別警報」は用いず、従来どおりの名称で発表します。

### 特別警報が発表されたら

- ⚠ 尋常でない大雨や暴風等が予想されています。
- ⚠ 重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ⚠ ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

## 雨の強さと降り方

予報用語	1時間雨量 (mm)	人の受けるイメージ	人への影響	屋内(木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
やや強い雨	10以上 20未満	ザーザーと降る。	地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	雨の音で話し声が良く聞き取れない。	地面一面に 水たまりができる。	—
強い雨	20以上 30未満	どしゃ降り。	傘をさしていてもぬれる。	寝ている人の半数くらいが 雨に気がつく。		ワイパーを速くしても見づらい。
激しい雨	30以上 50未満	バケツをひっくり返したように降る。			道路が 川ようになる。	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる。(ハイドロプレーニング現象)
非常に 激しい雨	50以上 80未満	滝のように降る。 (ゴーゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる。		水しぶきで あたり一面が 白っぽくなり、 視界が悪くなる。	車の運転は危険。
猛烈な雨	80以上	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。				

## 風の強さと吹き方

予報用語	平均風速(m/s)	おおよその時速	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	おおよその瞬間風速(m/s)
やや強い風	10以上 15未満	~50km	一般道路の自動車	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける。	樋(とい)が揺れ始める。	20
強い風	15以上 20未満	~70km		風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。	電線が鳴り始める。看板やトタン板が外れ始める。	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるものがある。雨戸やシャッターが揺れる。	
非常に強い風	20以上 25未満	~90km	高速道路の自動車	何かにつかまっていけないと立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	通常で速度で運転するのが困難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。ビニールハウスのフィルム(被覆材)が広範囲に破れる。	30
	25以上 30未満	~110km					固定の不十分な金属屋根の葺材がめくれる。養生の不十分な仮設足場が崩落する。	40
猛烈な風	30以上 35未満	~125km	特急電車	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。	走行中のトラックが横転する。	外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。	50
	35以上 40未満	~140km					住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。	60
	40以上	140km~						

## 台風の大きさと強さ

大きさ	風速 15m/s 以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km 以上 800km 未満	強い	33m/s(64 ノット) 以上 44m/s(85 ノット) 未満
超大型(非常に大きい)	800km 以上	非常に強い	44 m/s(85 ノット) 以上 54m/s(105 ノット) 未満
		猛烈な	54m/s(105 ノット) 以上

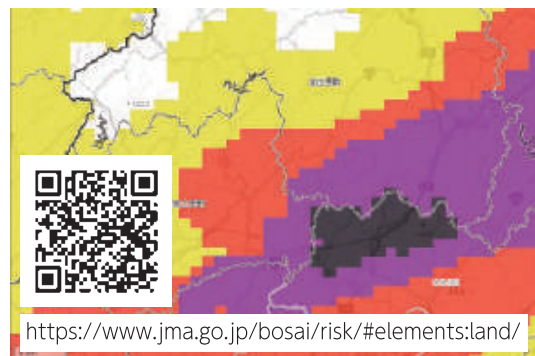
(ページ内の図表は気象庁ホームページより抜粋、編集)



# キキクル

どこで土砂災害や浸水害、洪水災害の危険度が高まっているかを知ることができる、命を守るための情報です。

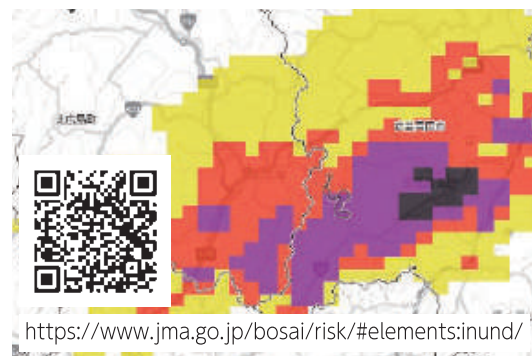
## 土砂キキクル



紫：崖・渓流の近くは危険

高	災害切迫	【警戒レベル5相当】
危険度	危険	【警戒レベル4相当】
	警戒	【警戒レベル3相当】
	注意	【警戒レベル2相当】
低	今後の情報等に留意	

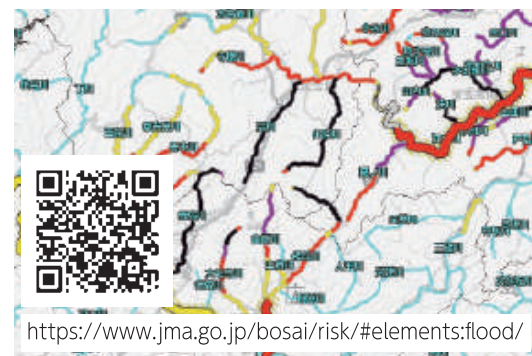
## 浸水キキクル



紫：低地は危険

高	災害切迫	【警戒レベル5相当】
危険度	危険	
	警戒	
	注意	
低	今後の情報等に留意	

## 洪水キキクル



紫：河川沿いは危険

高	災害切迫	【警戒レベル5相当】
危険度	危険	【警戒レベル4相当】
	警戒	【警戒レベル3相当】
	注意	【警戒レベル2相当】
低	今後の情報等に留意	

※使用している携帯電話・アプリケーションによっては二次元コードの読み取りができない場合があります。

## レベル4土砂災害危険警報

レベル3土砂災害警報発表後、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、市町村長の避難指示の発令判断や住民の自主避難の判断を支援するよう、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、気象台が発表します。

危険な場所からの避難が必要な**警戒レベル4に相当**します。

土砂災害危険警報が発表された市町村内で危険度が高まっている詳細な領域は**土砂キキクル**で確認できます。

土砂災害によって命が脅かされる危険性が認められる土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、遅くとも該当領域に「危険」(紫色)が出現した時点で速やかに避難を開始することが大変重要です。

周囲の状況や雨の降り方にも留意し、危険を感じたら躊躇することなく自主避難を行いましょう。

## 気象防災速報(記録的短時間大雨)

数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を、観測(地上の雨量計による観測)したり、解析(気象レーダーと地上の雨量計を組み合わせた分析：解析雨量)したりしたときに発表します。

この情報は、現在の降雨がその地域にとって土砂災害や浸水害、中小河川の洪水災害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であることをお知らせするために、雨量基準を満たし、かつ、大雨警報発表中に、**キキクル**の「危険」(紫)が出現している場合に気象庁から発表されます。

この情報が発表されたときは、お住まいの地域で、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水災害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。

実際にどこで災害発生の危険度が高まっているかを**キキクル**で確認してください。

## 気象防災速報(線状降水帯発生)

大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続けている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する情報です。

この情報は警戒レベル相当情報を補足する情報です。**警戒レベル4相当以上**の状況で気象台から発表されます。

大雨に関する情報が発表されていなくとも、広範囲で激しい雨が長時間継続するような場合には、甚大な災害が発生する場合があります。

大雨に関する情報を待つことなく、災害発生の危険度の高まりを示す**キキクル**を活用いただくことが極めて重要です。

(ページ内の図表は内閣府・気象庁ホームページより抜粋、編集)





# 洪水・浸水害について

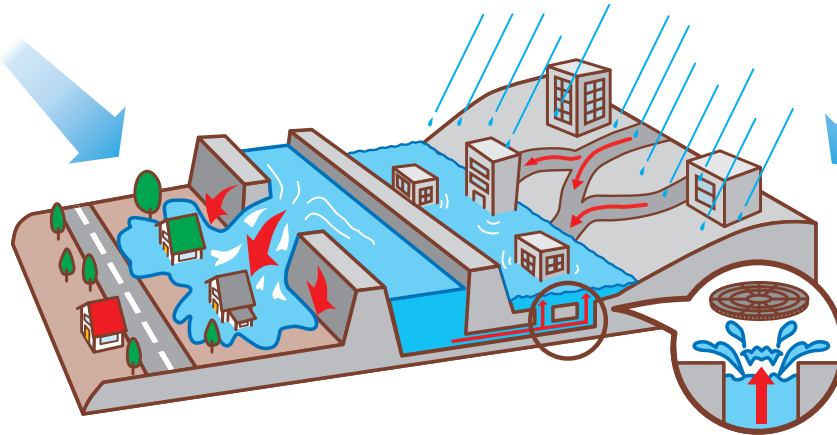
## 氾濫の種類

### 外水 氾濫

河川の水位が上昇し、堤防を越えたり破堤するなどして堤防から水があふれ出す。

### 内水 氾濫

下水道・支川等の雨水排水能力を上回り浸水  
あるいは  
河川水位の上昇により、下水道・支川等から河川へ放流できず浸水



出典：国土交通省ウェブサイト(<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/olympic/>)を加工して作成

## 水位周知を行う河川(馬淵川)

馬淵川については以下の水位を目安にして、避難に関する情報を発令します。

河川名	観測所名	水防団待機 水位 (通報水位) (m)	氾濫注意 水位 (警戒水位) (m)	避難判断 水位(m)	氾濫危険 水位 (特別警戒水位) (m)
馬淵川	田子	0.8	1.1	1.1	1.4

### 浸水想定区域の指定の前提となる雨量

馬淵川	
作成主体、指定年月日	岩手県 令和 5年 3月 24日 馬淵川流域の48時間の総雨量 317mm
元町川	
作成主体、指定年月日	岩手県 令和 6年 3月 15日 元町川流域の48時間の総雨量 962mm
山形川	
作成主体、指定年月日	岩手県 令和 6年 3月 15日 山形川流域の48時間の総雨量 835mm

## 避難行動のポイント、危険な場所

### 1. 情報の確認

- 雨や台風などの状況を、テレビ・ラジオ・インターネットなどで確認し、最新の気象情報や避難指示等に関する情報を入手しましょう。  
川の防災情報 <https://www.river.go.jp/>

### 2. 動きやすい服装、集団での避難

- 避難するときは、動きやすい格好で、2人以上での行動を心がけましょう。

### 3. 避難時の歩き方

- 避難中はできるだけ浸水していない場所を歩きましょう。避難途中で危険を感じたら、自宅の2階以上や近所の高い建物に避難しましょう。
- 浸水している場合には下水道のマンホールや側溝等への転落のおそれがあり危険ですので注意しましょう。

### 4. 隣近所への呼びかけ

- お年寄りや子供、病気の方は早めの避難が必要です。近所のお年寄りや子供、病気の人などの避難に協力しましょう。情報伝達や避難場所をとりまとめておくとう便利です。

### 5. 車での避難は危険

- 自動車が水に浸かると動かなくなったり、水圧で扉が開かなくなったりして大変で危険です。自動車での避難は特別の場合を除きやめましょう。

### 6. 橋や川の近くは危険

- 川が増水している場合には、川の流れが速く、橋が壊れたり流されたりして非常に危険ですので、近寄らないようにしましょう。

### 7. 川や用水路を見に行かない

- 大雨の時に、川や用水路の様子を見に行つたことで流されて被害に遭う場合があります。大雨時には絶対に川や用水路を見に行くことはやめましょう。

出典：国土交通省ウェブサイトを加工して作成



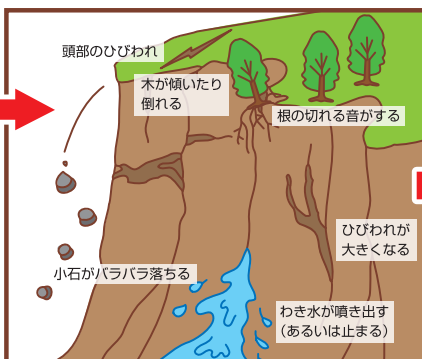
# 土砂災害について

## 土砂災害の種類

土砂災害は、大きく分けてがけ崩れ(急傾斜地の崩壊)、土石流、地滑りの3種類に分類される。

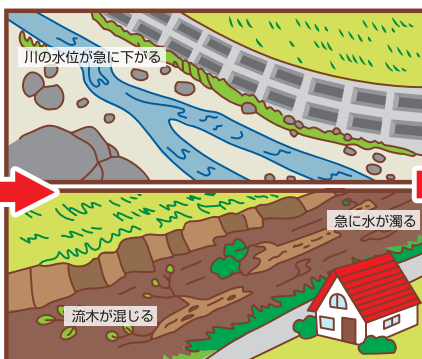
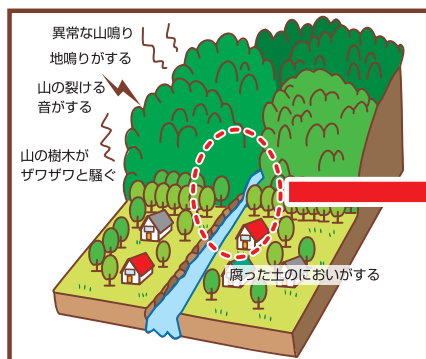
### がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

雨などの影響によって、土の抵抗力が弱まり、急激に斜面が崩れ落ちる現象。  
ひとたび人家を襲うと逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高い。



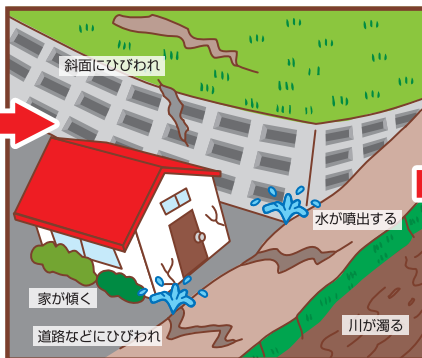
### 土石流

山腹や溪床を構成する土砂石礫の一部が雨などによって水と一体となり、一気に下流へ押し流される現象。  
流速 20 ~ 40km/h で一瞬のうちに人家などを壊滅させてしまう。



### 地すべり

斜面の土塊が地下水などの影響により、すべり面に沿ってゆっくりと斜面下方へ移動する現象。  
一般的に広範囲に及び移動土塊量が大きいため甚大な被害を及ぼす可能性が高い。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

出典：国土交通省ウェブサイトを加工して作成

## 避難行動のポイント

### 豪雨になる前に！

- お住まいの地域に土砂災害危険警報(警戒レベル4相当情報)が発表されたら、町からの警戒レベル4避難指示の発令に留意し、土砂キキクルなどを参考にし、地域内の方々に声をかけあい近くの避難場所など、安全な場所に避難しましょう。特に、お年寄りや障がいのある人など避難に時間がかかる人や、夜中に大雨が想定される場合は、警戒レベル3高齢者等避難が発令されたタイミング等で早めに避難することがより安全です。
- 土砂災害の多くは木造の1階で被災しています。浸水などで避難場所への避難が困難なときは、近くの頑丈な建物の2階以上や、家の中でより安全な場所(がけから離れた部屋や2階など)に移動しましょう。
- 普段から避難訓練に参加し避難に慣れていれば避難行動を起こしやすくなります。町などが行う土砂災害の避難訓練に参加しましょう。

出典：首相官邸ホームページを加工して作成



# 地震対策について

## 地震の時はどのように行動したらいいか？

地震の揺れを感じた場合、あるいは緊急地震速報を見聞きした場合は、あわてずにまずは身の安全を確保してください。そして、落ち着いてテレビやラジオ、携帯電話やスマートフォンなど、様々な手段を使って正確な情報の把握に努めましょう。

### 家庭で屋内にいるとき

- 家具の移動や落下物から身を守るため、頭を保護しながら大きな家具から離れ、丈夫な机の下などに隠れる。
- あわてて外に飛び出さない。
- 料理や暖房などで火を使っている場合、その場で火を消せるときは火の始末、火元から離れているときは無理に火を消しに行かない。



### 人が大勢いる施設(大規模店舗などの集客施設)にいるとき

- あわてずに施設の係員や従業員などの指示に従う。
- 従業員などから指示がない場合は、その場で頭を保護し、揺れに備えて安全な姿勢をとる。
- 吊り下がっている照明などの下から退避する。
- あわてて出口や階段に殺到しない。



### エレベーターに乗っているとき

- 最寄りの階で停止させて、すぐに降りる。



### 屋外にいるとき

- ブロック塀の倒壊や自動販売機の転倒などに注意し、これらのそばから離れる。
- ビルの壁、看板や割れた窓ガラスなどの落下に注意して、建物から離れる。



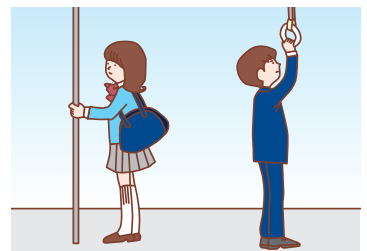
### 山やがけ付近にいるとき

- 落石やがけ崩れに注意し、できるだけその場から離れる。



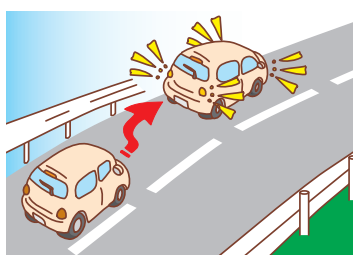
### 鉄道・バスに乗っているとき

- つり革や手すりにしっかりつかまる。



### 自動車運転中

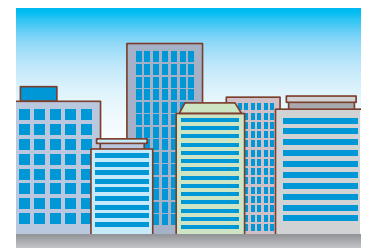
- あわてて急ハンドルや急ブレーキをかけず緩やかに速度を落とす。
- ハザードランプを点灯して周りの車に注意を促し、道路の左側に停止する。



### 大都市で地震に遭遇した時

**まずは、身の安全を確保した後、むやみに移動を開始しないことが基本!安全な場所にとどまることを考えましょう。**

- 道路では余震で頭上から物が落下してきたり、道中に火災が起こっていたりするなど、数多くの危険が予想されますので、安全な場所からはむやみに移動しないようにしましょう。
- 駅周辺等大混雑している場所では、人が将棋倒しになる集団転倒が起きやすくなります。駅周辺には近づかないようにしましょう。
- 発生3日程度は火災の発生や救助・救急活動優先のため、混乱状態が続きます。まず身を守るために安全な場所にとどまることを考えましょう。



出典：首相官邸ホームページを加工して作成



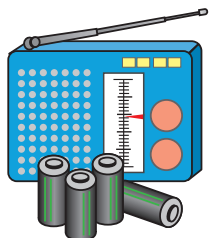
# 非常時持出品および備蓄品

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。

## 非常時持出品(例)

事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

### 携帯ラジオ



- ☐ ラジオ
- ☐ 電池(多めに用意)

### 救急医療品



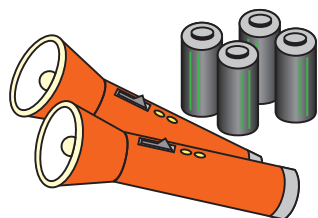
- ☐ 持病薬
- ☐ 絆創膏
- ☐ 傷薬
- ☐ 包帯
- ☐ 風邪薬
- ☐ 胃腸薬
- ☐ 鎮痛剤

### 貴重品



- ☐ 現金
- ☐ 預金通帳
- ☐ 印鑑
- ☐ 免許証
- ☐ 健康保険証
- ☐ 権利証書

### 懐中電灯



- ☐ 懐中電灯(出来れば一人にひとつ)
- ☐ 電池(多めに用意)

### 非常食品



火を通さずに食べられるもの、食器など

- ☐ 非常用食品
- ☐ 缶詰
- ☐ 缶切り
- ☐ ミネラルウォーター
- ☐ 紙皿
- ☐ 栓抜き
- ☐ 水筒
- ☐ 紙コップ
- ☐ 箸等

### その他

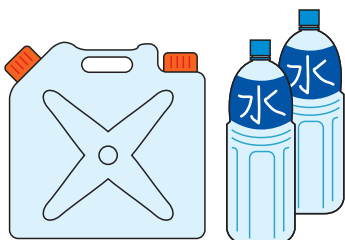


- ☐ 衣類(下着・上着など)
- ☐ タオル
- ☐ 生理用品
- ☐ 粉ミルク
- ☐ 離乳食
- ☐ 紙おむつ
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ 雨具
- ☐ ヘルメット
- ☐ ライター
- ☐ ラップフィルム
- ☐ 防災マップ(本書)
- ☐ (止血や食器にかぶせて使う)
- ☐ 防寒具(時季による)

## 非常時用備蓄品(例)

災害復旧までの数日間(最低3日)を生活できるようにチェック☑しましょう。

### 飲料水



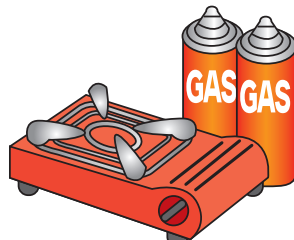
- ☐ 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に)
- ☐ 貯水したポリタンクなど

### 非常食品



- ☐ お米(アルファ米も便利)
- ☐ 缶詰・レトルト食品
- ☐ 梅干し・調味料など
- ☐ ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)

### 燃料



- ☐ 卓上コンロ
- ☐ ガスボンベ
- ☐ 固形燃料

### その他



- ☐ 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
- ☐ 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- ☐ 調理器具(なべ・やかんなど)
- ☐ バケツ・各種アウトドア用品など

## 非常時持出品は定期的に点検を!

避難生活が長引くときに便利なもの

携帯トイレ、使い捨てカイロ、裁縫セット、ガムテープ、地図、さらし、筆記用具(マジックなど)、スコップなど。



東日本大震災で役に立ったもの

ポリタンク、ホイッスル、予備の眼鏡・補聴器、ビニールシート、新聞紙、補助用具としてロープ、スコップ、バールやハンマー、のこぎり、車のジャッキなど。

非常時持出品は、使用するとき支障のないように、定期的に点検しておきましょう。とくに食品や飲料水の賞味期限はまめにチェックし、賞味期限がせまったものから順に入れ替えておきましょう。



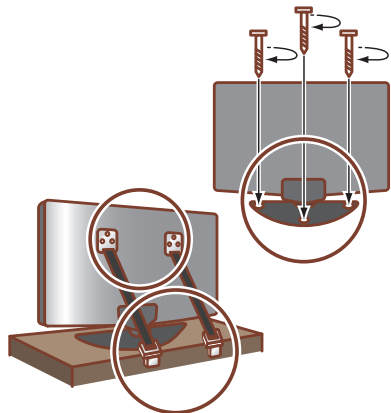
# わが家の防災対策

## 家の中の安全対策

地震に備えて日頃から家具の固定や配置の見直しで「安全空間」を作っておきましょう。

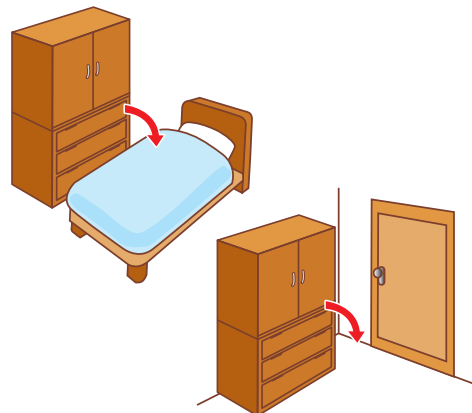
### ！ 家具や家電は固定しましょう

家具の固定方法はいろいろありますが、正しいやり方で行わなければ効果は期待できません。出来るだけ作りつけにすることを検討しましょう。また、テレビや電子レンジ、パソコンなどの電化製品は、激しい揺れで飛んでくることがあります。耐震固定ベルトや耐震マットを使いましょう。



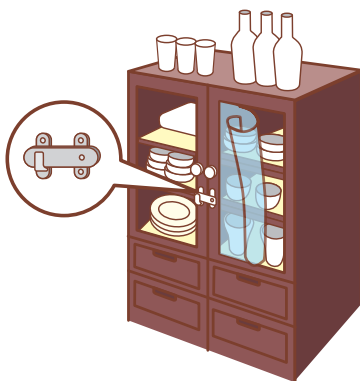
### ！ 家具は倒れる向きを考えて配置しましょう

「大地震では、家具は必ず倒れるもの」と考えて、万が一倒れてきても安全なように、家具の向きと配置を確認しましょう。また、倒れた家具が避難経路をふさぐことがないように、併せて確認しましょう。



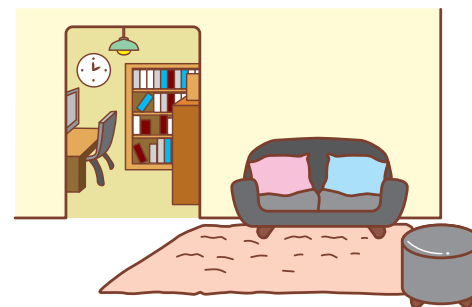
### ！ 家具の上や中身の物にも注意しましょう

家具本体だけでなく、家具の引き出しや扉、ガラス部分も確認しましょう。収納物が飛び出して身体に当たったり、避難経路に散乱して、ケガをする危険があります。扉が開かないようにとめ金をつけたり、ガラス飛散防止フィルムを貼るなどの対策をとりましょう。また、家具の上や高い位置に重い物を置かないようにしましょう。



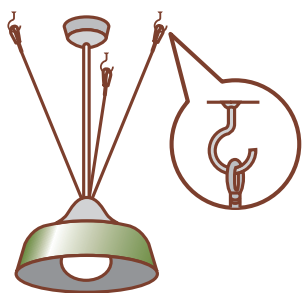
### ！ 家具部屋をつくりましょう

お子さんやお年寄りのいる部屋の安全を確認しましょう。寝室や子ども部屋など、家族が長時間を過ごす部屋には、できるだけ家具を置かないようにするために、背の高い家具などを一部屋にまとめておくのも有効です。



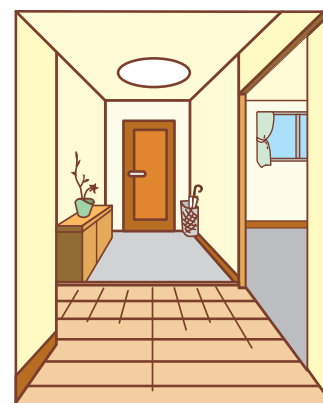
### ！ 壁・床・天井にも気を配りましょう

壁に飾られた額やオブジェ、天井から吊り下げられた照明は、地震の際にどうなるでしょうか。ガラスの破片などが床一面に広がったりしませんか。照明などは出来るだけ作りつけにし、スリッパやズック靴などを使えるように置いておきましょう。



### ！ 生き残るため、死なないための努力を

『緊急地震速報』を見聞きしても、家の中に安全な場所がなければどうしようもありません。また、逃げようにも逃げられない状態を避けるためにも、安全な避難経路が確保できるよう、日ごろからお部屋の状況に応じた手立てを行いましょう。



## チェックリスト

- ☒ 家具は倒れないよう固定されている
- ☒ 家電製品が落ちたり飛ばないように対策してある
- ☒ 家具の上に危険なものを置いていない
- ☒ ガラス付きの家具には、ガラス飛散防止フィルムをはっている
- ☒ 寝る場所の近くに、倒れそうな家具はない
- ☒ 万が一、家具が倒れても部屋の出口はふさがれない
- ☒ 避難経路にコワレモノを飾っていない

## 家の周囲の安全対策

以下のポイントをチェックし、適切に補修を行ってください。

不安定な屋根のアンテナや、瓦なども専門家に頼んで直してもらいましょう。

瓦のひび割れ、ずれ、はがれがないか点検します。

板壁に腐りや浮きはありますか。

どこにでもあるブロック塀。土中にしっかりとした基礎のないもの、鉄筋が入っていないもの、控え壁がないものは危険です。補強しましょう。ひび割れや鉄筋のさびも修理しておきます。

ひび割れ、窓枠のがたつきはないか、チェックします。強風による飛来物が心配なときは、外側から板でふさぐなどの処置を。

植木鉢などを整理します。落ちる危険がある場所には、何も置かないようにします。

トタンのめくれ、はがれのないことを確認します。

雨樋に落ち葉や土砂が詰まっていたり、継ぎ目のはずれや塗装のはがれ、腐りはありませんか。

家の周りは街灯をつけるなどして、できるだけ明るくしておきましょう。

雨戸はがたつきやゆるみを確認します。

モルタルの壁に傷はありませんか。

放火による火災もあとを絶ちません。家の周りやアパートなどの階段の下に燃えやすいものを置かないようにします。ゴミは収集日の朝に出しましょう。

空き家、車庫、物置などにもきちんと鍵をつけ、戸締まりをしっかりする心がけておきます。

ガスは、ボンベを鎖で動かないよう固定しておきます。

家を空けるときは、隣近所に声をかけておきましょう。

地域の人みんなで定期的に夜の見回りをするようにしましょう。



出典：消防庁ホームページ防災・危機管理eカレッジを加工して作成  
(<https://www.fdma.go.jp/relocation/e-college/index2.html>)

## 準備しておこう

避難場所や避難経路、確認していますか？

### ◆避難場所や避難経路、確認していますか？

いざ災害が起きた時にあわてずに避難するためにも、町のホームページや国土交通省ハザードマップポータルサイトなどから防災マップを入手し、避難場所、避難経路を事前に確認しておきましょう。

災害の種類によって安全な避難場所が異なります。

それぞれの災害をイメージして、どのように行動すれば安全に避難できるか家族で考えてみましょう。



### ◆ご家族同士の安否確認方法、決まっていますか？

別々の場所にいるときに災害が発生した場合でもお互いの安否を確認できるよう、日頃から安否確認の方法や集合場所などを、事前に話し合っておきましょう。災害時には、携帯電話の回線がつながりにくくなり、連絡がとれない場合もあります。その際には以下のサービスを利用しましょう。

#### 災害用伝言ダイヤル

局番なしの「171」に電話をかけると伝言を録音でき、自分の電話番号を知っている家族などが、伝言を再生できます。

※一般加入電話や公衆電話、一部のIP電話からご利用できます。

※携帯電話からもご利用できますが、詳しくはご契約されている通信事業者へご確認をお願いします。

#### 災害用伝言板

携帯電話やスマートフォンからインターネットサービスを使用して文字情報を登録し、自分の電話番号を知っている家族などが、情報を閲覧できます。

出典：首相官邸ホームページを加工して作成





# 避難施設一覧

## 指定緊急避難場所（第一避難所）一覧

指定緊急避難場所は、地図内に赤文字で表示されています

所在地	No	施設名	住所	掲載 マップ 座標	T E L	想定 収容 人数	太陽光 発電	簡易 救助 器具	対象とする異常な現象の種類				
									地震	大規模 な火事	崖崩れ	土石流	洪水
吉ヶ沢	①	ゆきわりそう	葛巻 43-34-1	5 B-3	66-0443	73	○	○	○	○	○	○	○
土谷川	②	土谷川生活改善センター	葛巻 39-291	8 C-4	66-0238	78	○	○	○	○	○	○	○
元木	③	元木生活改善センター	葛巻 38-139	9 A-4	66-0805	38	○	○	○	○	○	○	○
小屋瀬	④	小屋瀬農村センター	葛巻 28-20	9 D-4	66-0809	88	○	○	○	○	○	○	
田代	⑤	田代コミュニティセンター	葛巻 21-95-6	6 E-2		52	○	○	○	○		○	
平船	⑥	平船集会所	葛巻 49-26	6 D-1		12	○	○	○	○	○	○	○
垂柳	⑦	夢見る里ふれあい交流館	葛巻 52-61-3	3 C-5	66-1788	62	○	○	○	○	○	○	
小田	⑧	小田林業研修センター	葛巻 54-333	3 D-3		53	○	○	○	○	○	○	
星野	⑨	星野生活改善センター	葛巻 60-7-1	4 A-3	66-4041	53	○	○	○	○	○	○	○
	⑩	鷹の巣公民館	葛巻 1-82-3	4 A-1		18			○	○	○		○
田子	⑪	田子ふれあいセンター	葛巻 18-26	16 B-2	66-2951	54	○	○	○	○	○	○	
城内小路	⑫	葛巻町コミュニティ防災センター	葛巻 15-34-3	16 B-2		40	○	○	○	○	○		○
新町	⑬	新町自治会館	葛巻 12-37-1	16 C-3	66-3037	62	○	○	○	○	○	○	
浦子内	⑭	象鼻会館	葛巻 8-39-1	16 D-3	66-3091	55	○	○	○	○		○	
茶屋場	⑮	茶屋場自治会館	葛巻 6-142-1	16 E-3	66-3529	89	○	○	○	○	○	○	
江刈馬淵	⑯	江刈馬淵自治会館	江刈 34-125-7	13 D-4		27		○	○	○	○	○	○
	⑰	馬淵農村婦人の家	江刈 37-65-2	13 D-2		31			○	○	○		○
遠矢場	⑱	遠矢場林業研修センター	江刈 33-60-1	13 B-4	68-2208	53	○	○	○	○			○
車門	⑲	西里公民館	江刈 41-27-7	13 A-3		31	○		○	○	○	○	○
	⑳	車門ふるさと会館	江刈 31-104-6	13 A-3		31	○	○	○	○	○	○	○
山岸	㉑	山岸自治会館	江刈 28-17-4	12 F-1		27	○		○	○	○	○	○
五日市	㉒	五日市生活改善センター	江刈 25-49-1	10 F-5		51	○	○	○	○	○	○	
栗山	㉓	立の神会館	江刈 19-38-6	10 E-4	68-2818	40	○	○	○	○	○	○	○
泉田	㉔	泉田自治会館	江刈 18-36-15	10 E-3		24	○		○	○	○		○
江刈	㉕	江刈農村センター	江刈 14-238-2	10 D-2	68-2523	146	○	○	○	○	○		
寺田	㉖	寺田公民館	江刈 12-73-1	10 C-1		20		○	○	○	○	○	○
橋場	㉗	橋場生活改善センター	江刈 8-76-14	7 B-5	66-2730	51	○	○	○	○	○	○	○
四日市	㉘	四日市コミュニティセンター	江刈 7-4-4	16 F-4	66-2732	48	○	○	○	○	○	○	○
江刈川	㉙	水車の里交流館	江刈 2-99	7 E-1	66-2697	34	○	○	○	○	○	○	
上外川	㉚	上外川林業研修センター	江刈 42-17	12 A-4	66-0090	41	○	○	○	○		○	○
冬部	㉛	田屋集落センター	田部字田屋 78-2	1 D-2		23	○		○	○	○	○	
	㉜	冬部コミュニティセンター	田部字境の沢 44	1 E-3		44	○	○	○	○	○	○	○
	㉝	名前端公民館	田部字上名前端 7-13	1 E-4		18			○	○	○	○	○
	㉞	毛頭沢林業研修センター	田部字毛頭沢 73	2 F-3		18	○		○	○			○
田野	㉟	前里集会所	田部字前里 140-2	1 F-5		10	○		○	○	○	○	○
	㊱	やまぶきホール	田部字正路 1	3 C-1		10	○		○	○	○		○
	㊲	田野構造改善センター	田部字触沢 3-10	3 C-2	66-1230	57	○	○	○	○	○	○	○
	㊳	田野集会所	田部字上田野 37	3 D-3		10	○		○	○	○	○	

※災害の種別や規模に応じて、町から緊急避難場所を指定します。

指定避難所（第二避難所）一覧

指定避難所は、地図内に青文字で表示されています

No.	施設名	住 所	掲載 マップ 座標	T E L	想定 収容 人数	太陽光 発電	簡易 救助 器具	対象とする異常な現象の種類				
								地震	大規模 な火事	崖崩れ	土石流	洪水
①	旧吉ヶ沢小学校	葛巻 43-33-1	5 B-3		232			○	○	○	○	○
②	もく・木ドーム	葛巻 40-57-125	8 D-2	66-0555	351			○	○	○	○	○
③	葛巻町立小屋瀬中学校	葛巻 28-76-70	9 C-4	66-0631	319	○		○	○	○	○	○
④	葛巻町立小屋瀬小学校	葛巻 28-22-5	9 D-4	66-0003	274	○		○	○	○	○	
⑤	葛巻町立葛巻中学校	葛巻 20-91	16 B-2	66-2614	473	○		○	○	○	○	
⑥	葛巻町立葛巻小学校	葛巻 12-37-1	16 C-3	66-2714	493	○		○	○	○		
⑦	旧小田小学校	葛巻 54-106	3 D-3		196			○	○	○	○	
⑧	旧星野小学校体育館	葛巻 60-6	4 A-3		134			○	○		○	○
⑨	葛巻町社会体育館	葛巻 8-33-2	16 D-3	66-3607	672	○		○	○		○	
⑩	岩手県立葛巻高等学校	葛巻 5-178-1	16 F-1	66-2624	474			○	○	○	○	○
⑪	旧馬淵小学校	江刈 34-111	13 C-4		238			○	○		○	○
⑫	葛巻町立五日市小学校	江刈 25-54-6	10 F-5	68-2130	288	○		○	○	○	○	
⑬	葛巻町立江刈中学校	江刈 16-54-2	10 D-2	68-2132	449	○		○	○		○	○
⑭	葛巻町立江刈小学校	江刈 10-206-12	10 C-1	66-3475	314			○	○	○		
⑮	旧冬部小中学校	田部字境の沢 44	1 E-3		327			○	○	○	○	○
⑯	旧田野小学校	田部字触沢 2-1	3 C-2		232			○	○		○	○
⑰	くずま〜る	葛巻 16-1-1	16 C-3	66-2111	171	○		○	○	○		
⑱	葛巻町高齢者福祉センター	葛巻 17-44-9	16 B-3	68-7161	105			○	○	○		

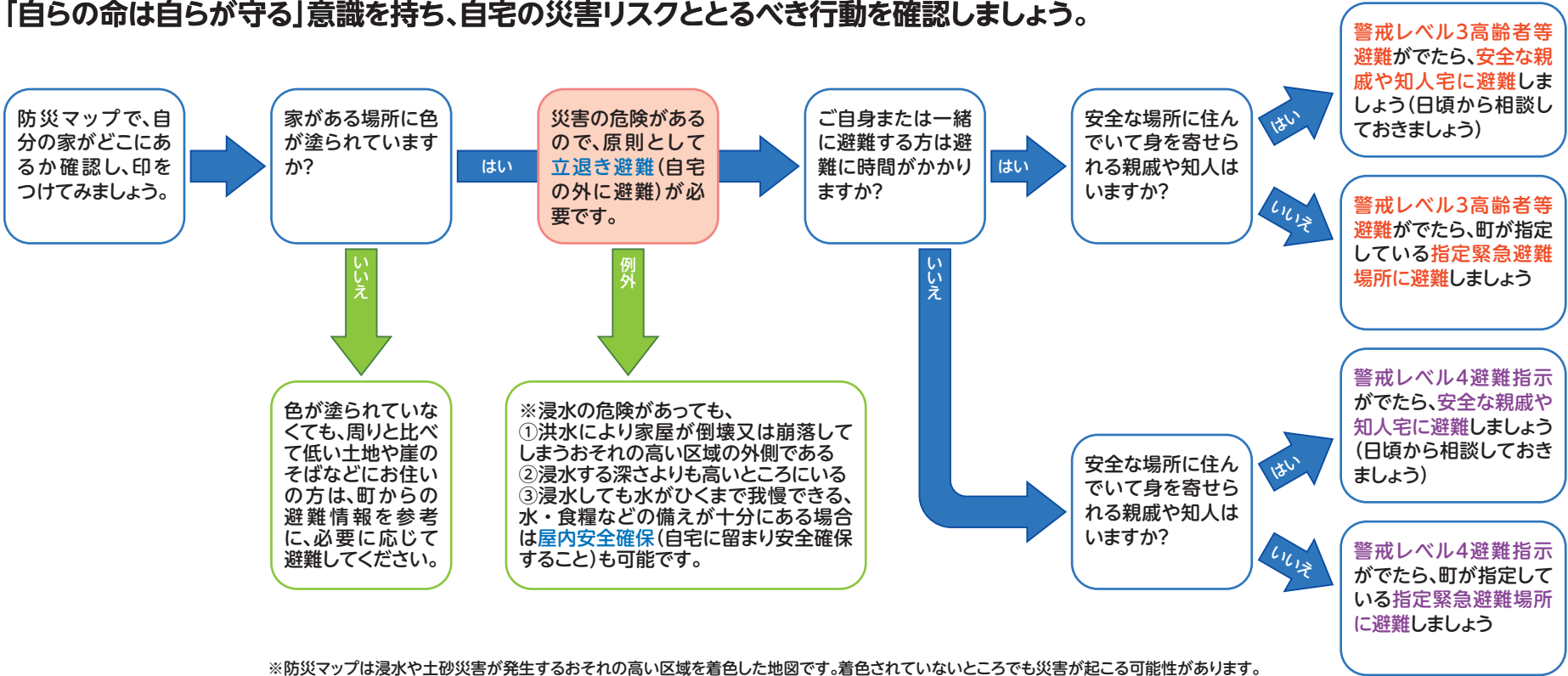
※災害の種別や規模に応じて、町から避難所を指定します。

避難施設の種類

指定緊急避難場所	災害発生後の一時避難場所として、地区センターなどを指定しています。
指定避難所	災害による家屋の倒壊などで、居住場所を確保できなかった人たちの収容保護を目的として、物資の運搬・集積・炊事・宿泊などの利便性を考慮したうえで、学校・公共施設などを指定しています。

避難行動判定フロー

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。





# わが家の「緊急・医療情報」防災メモ

非常時・緊急時に連絡してほしい方や、利用してもらいたい、わが家の情報です。  
災害時に救助の方や、緊急時に救急隊・医療機関などに情報を提供します。

## 家族の集合場所

氏 名	避難所・避難場所	連絡方法

## 家族の連絡先及び医療情報

氏 名	続柄	電話番号(自宅・携帯)	電話番号(会社・学校)	生年月日	血液型	医療情報(持病・アレルギー・常備薬)
					型	
					型	
					型	
					型	
					型	

## 親族・知人

氏 名	間柄	電話番号

## かかりつけ医療機関

医療機関名	電話番号

## 緊急ダイヤル

消防へ火事・救急・  
救助の連絡

**119**

警察へ事件・  
事故の連絡

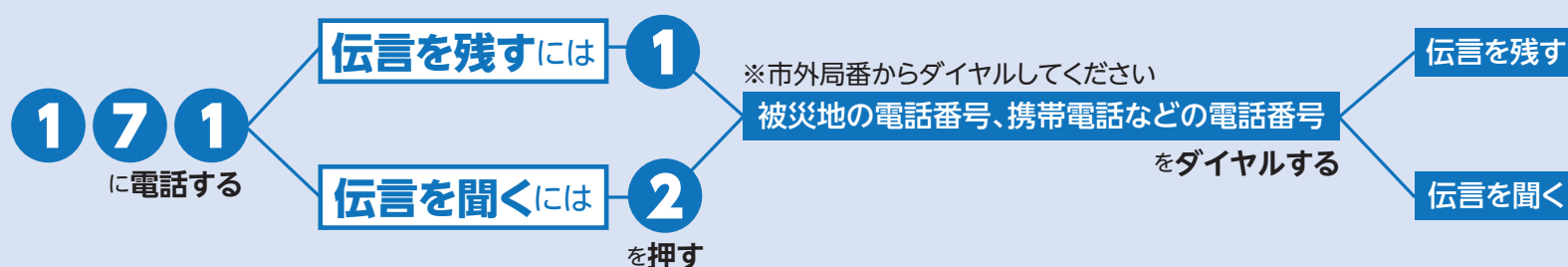
**110**

海上の事件・  
事故の連絡

**118**

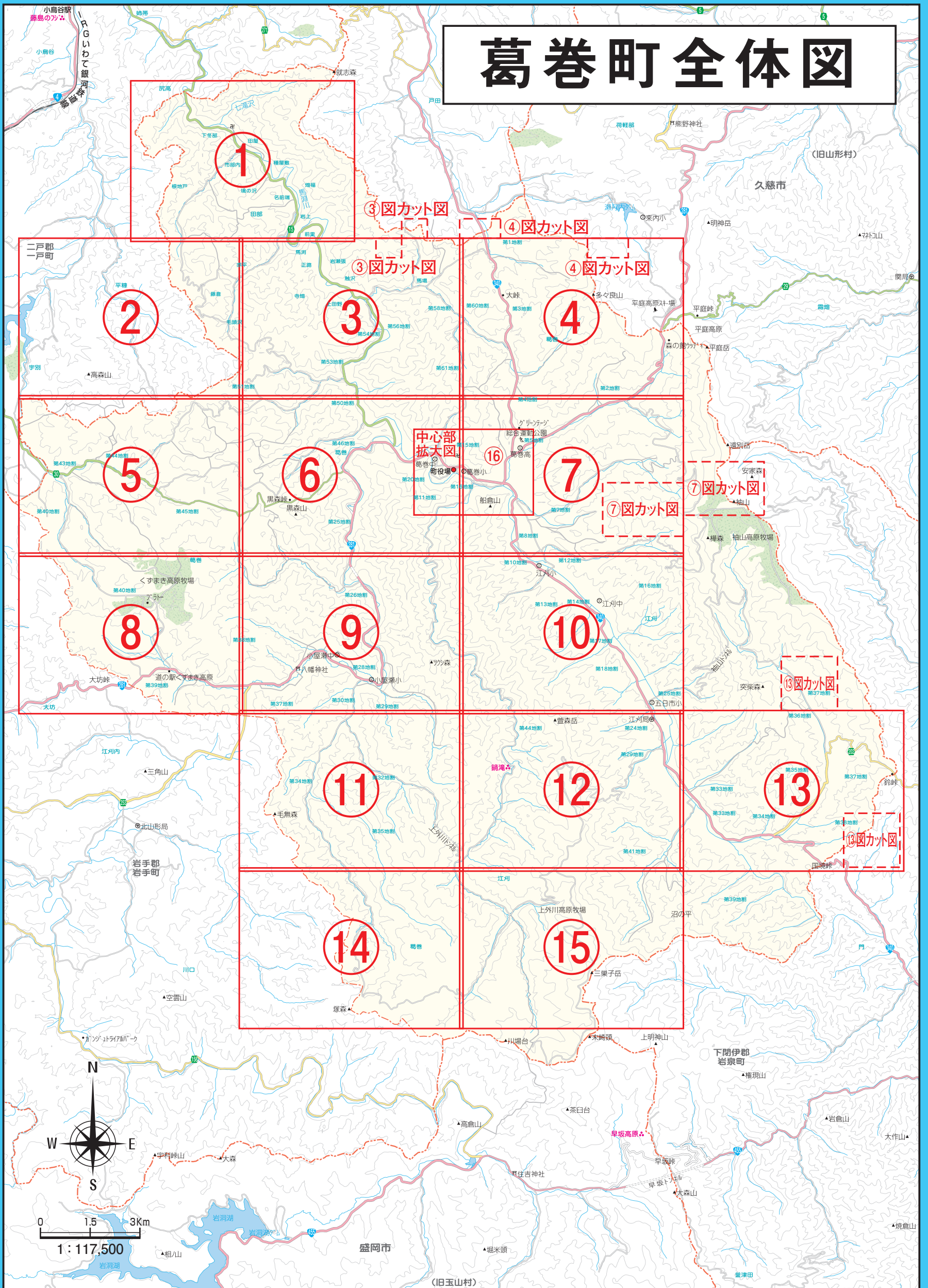
## 災害用伝言ダイヤル「171」

災害時には電話がつながりにくくなります  
「171」に電話をかけると、伝言の録音や再生ができます

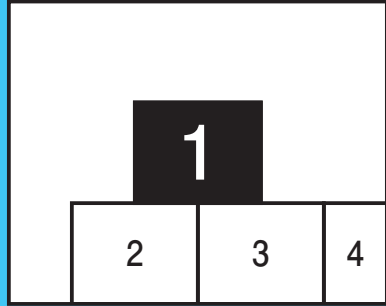




# 葛巻町全体図







**土砂災害 凡例**

土砂災害特別警戒区域 (土石流)

土砂災害警戒区域 (土石流)

土砂災害特別警戒区域 (急傾斜地)

土砂災害警戒区域 (急傾斜地)

**洪水災害 浸水想定区域 凡例**

10.0～20.0m未満の区域

5.0～10.0m未満の区域

3.0～5.0m未満の区域

0.5～3.0m未満の区域

0.5m未満の区域

**家屋倒壊等 氾濫想定区域 凡例**

氾濫流

河川堤防の決壊又は洪水氾濫により、木造家屋の倒壊のおそれがある区域

河岸侵食

洪水時の河岸侵食により、木造・非木造の家屋倒壊のおそれがある区域

**消防設備**

● 消火栓

● 防火水槽

**過去の被害及び注意区域**

土砂流出区域

過去の主な冠水・浸水区域

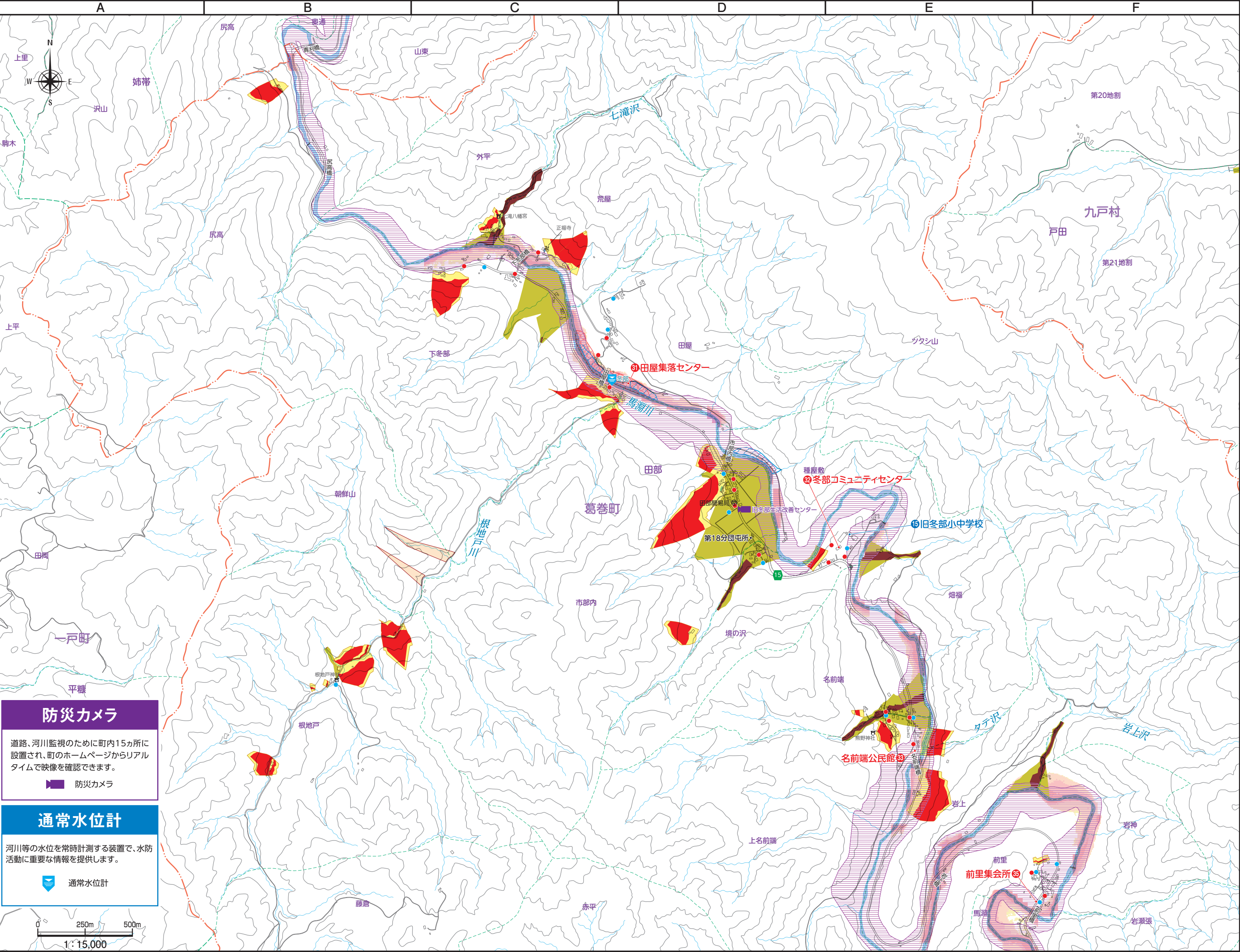
**避難施設 凡例**

**葛巻町指定緊急避難場所**

1

**葛巻町指定避難所**

1



**防災カメラ**

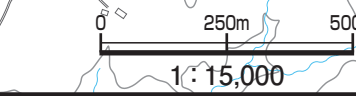
道路、河川監視のために町内15カ所に設置され、町のホームページからリアルタイムで映像を確認できます。

■ 防災カメラ

**通常水位計**

河川等の水位を常時計測する装置で、水防活動に重要な情報を提供します。

■ 通常水位計





	1	
2		3
5		6

土砂災害 凡例

土砂災害特別警戒区域  
(土石流)

土砂災害警戒区域(土石流)

土砂災害特別警戒区域  
(急傾斜地)

土砂災害警戒区域(急傾斜地)

洪水災害  
浸水想定区域 凡例

10.0～20.0m未満の区域

5.0～10.0m未満の区域

3.0～5.0m未満の区域

0.5～3.0m未満の区域

0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
氾濫想定区域凡例

氾濫流

河川堤防の決壊又は洪水氾濫により、  
木造家屋の倒壊のおそれがある区域

河岸侵食

洪水時の河岸侵食により、木造・非木造の  
家屋倒壊のおそれがある区域

消防設備

● 消 火 栓

● 防火水槽

過去の被害及び注意区域

土砂流出区域

過去の主な冠水・浸水区域

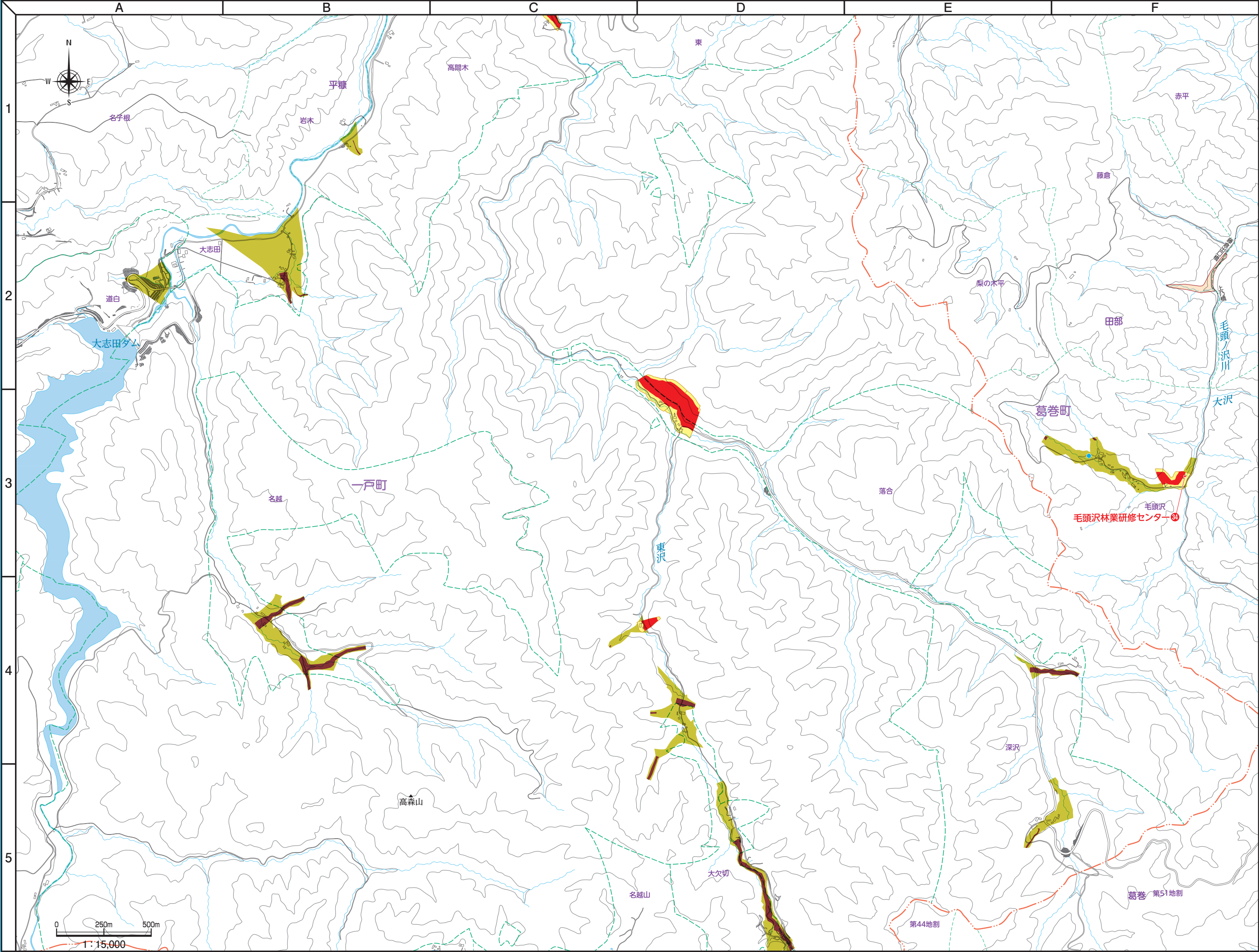
避難施設凡例

葛巻町指定緊急避難場所

1

葛巻町指定避難所

1





	1	
2	3	4
5	6	7

土砂災害 凡例

土砂災害特別警戒区域  
(土石流)

土砂災害警戒区域(土石流)

土砂災害特別警戒区域  
(急傾斜地)

土砂災害警戒区域(急傾斜地)

洪水災害  
浸水想定区域 凡例

10.0～20.0m未満の区域

5.0～10.0m未満の区域

3.0～5.0m未満の区域

0.5～3.0m未満の区域

0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
氾濫想定区域凡例

氾濫流

河川堤防の決壊又は洪水氾濫により、  
木造家屋の倒壊のおそれがある区域

河岸侵食

洪水時の河岸侵食により、木造・非木造の  
家屋倒壊のおそれがある区域

消防設備

● 消火栓

● 防火水槽

過去の被害及び注意区域

土砂流出区域

過去の主な冠水・浸水区域

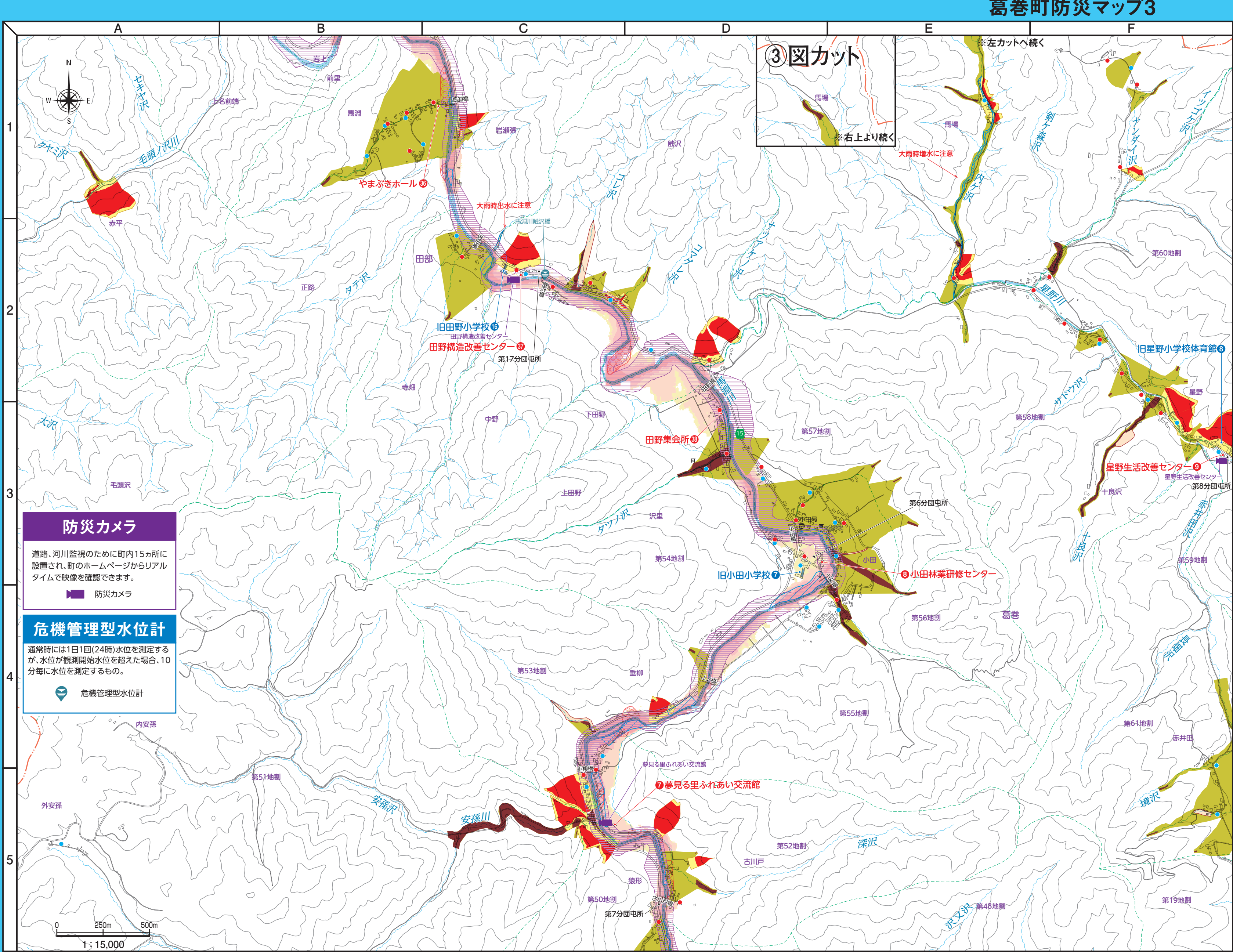
避難施設凡例

葛巻町指定緊急避難場所

1

葛巻町指定避難所

1





1	
3	4
6	7

**土砂災害 凡例**

土砂災害特別警戒区域 (土石流)

土砂災害警戒区域 (土石流)

土砂災害特別警戒区域 (急傾斜地)

土砂災害警戒区域 (急傾斜地)

**洪水災害 浸水想定区域 凡例**

10.0～20.0m未満の区域

5.0～10.0m未満の区域

3.0～5.0m未満の区域

0.5～3.0m未満の区域

0.5m未満の区域

**家屋倒壊等 氾濫想定区域 凡例**

氾濫流

河川堤防の決壊又は洪水氾濫により、木造家屋の倒壊のおそれがある区域

河岸侵食

洪水時の河岸侵食により、木造・非木造の家屋倒壊のおそれがある区域

**消防設備**

● 消火栓

● 防火水槽

**過去の被害及び注意区域**

土砂流出区域

過去の主な冠水・浸水区域

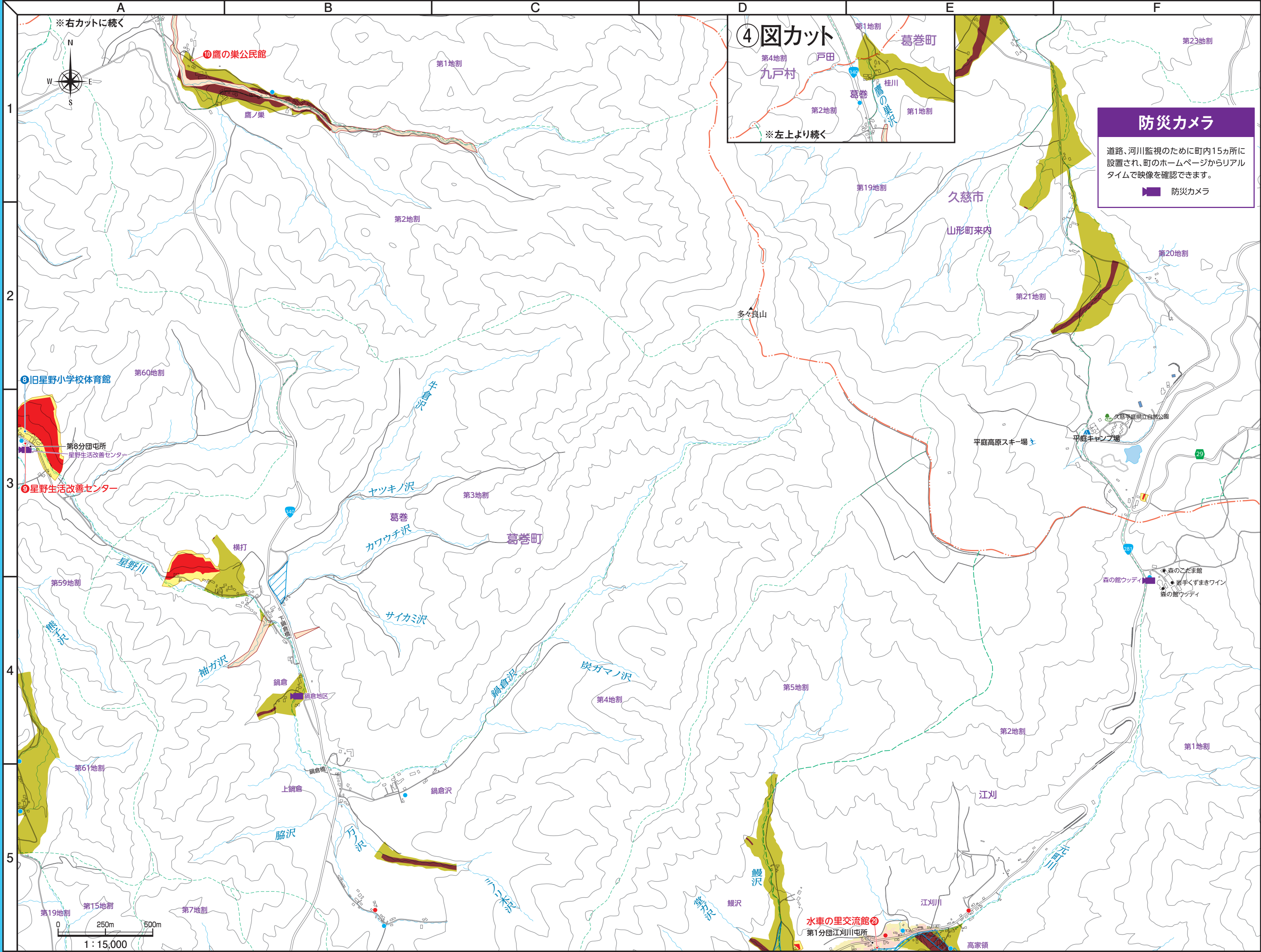
**避難施設 凡例**

葛巻町指定緊急避難場所

1

葛巻町指定避難所

1



**防災カメラ**

道路、河川監視のために町内15カ所に設置され、町のホームページからリアルタイムで映像を確認できます。

防災カメラ



	2	3
5	6	
8	9	

**土砂災害 凡例**

土砂災害特別警戒区域 (土石流)

土砂災害警戒区域 (土石流)

土砂災害特別警戒区域 (急傾斜地)

土砂災害警戒区域 (急傾斜地)

**洪水災害 浸水想定区域 凡例**

10.0～20.0m未満の区域

5.0～10.0m未満の区域

3.0～5.0m未満の区域

0.5～3.0m未満の区域

0.5m未満の区域

**家屋倒壊等 氾濫想定区域 凡例**

氾濫流

河岸侵食

**消防設備**

● 消火栓

● 防火水槽

**過去の被害及び注意区域**

土砂流出区域

過去の主な冠水・浸水区域

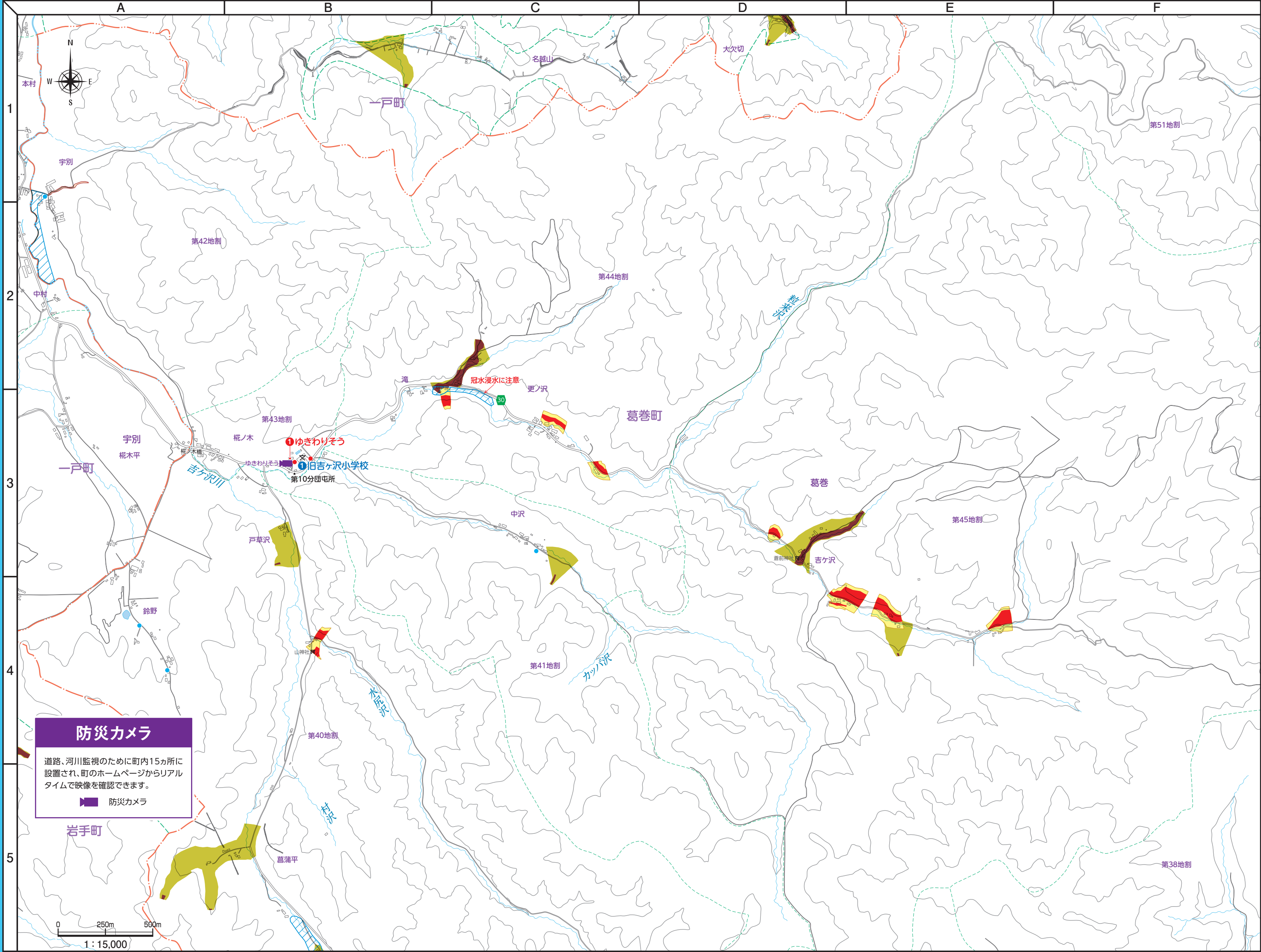
**避難施設 凡例**

葛巻町指定緊急避難場所

1

葛巻町指定避難所

1





2	3	4
5	6	7
8	9	10

**土砂災害 凡例**

土砂災害特別警戒区域 (土石流)

土砂災害警戒区域 (土石流)

土砂災害特別警戒区域 (急傾斜地)

土砂災害警戒区域 (急傾斜地)

**洪水災害 浸水想定区域 凡例**

10.0～20.0m未満の区域

5.0～10.0m未満の区域

3.0～5.0m未満の区域

0.5～3.0m未満の区域

0.5m未満の区域

**家屋倒壊等 氾濫想定区域 凡例**

氾濫流

河川堤防の決壊又は洪水氾濫により、木造家屋の倒壊のおそれがある区域

河岸侵食

洪水時の河岸侵食により、木造・非木造の家屋倒壊のおそれがある区域

**消防設備**

● 消火栓

● 防火水槽

**過去の被害及び注意区域**

土砂流出区域

過去の主な冠水・浸水区域

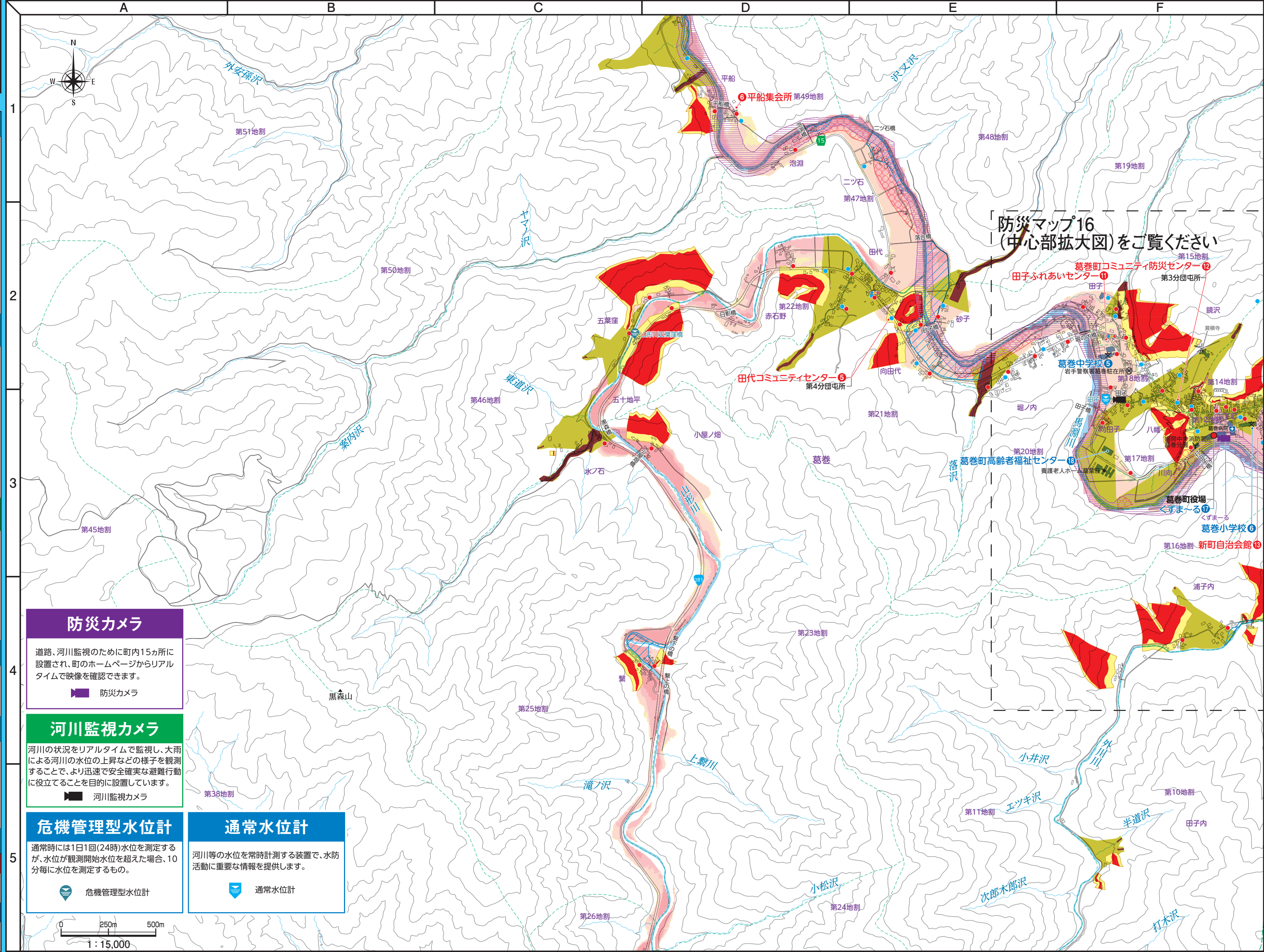
**避難施設 凡例**

葛巻町指定緊急避難場所

1

葛巻町指定避難所

1





3	4	
6	7	
9	10	

土砂災害 凡例

土砂災害特別警戒区域  
(土石流)

土砂災害警戒区域(土石流)

土砂災害特別警戒区域  
(急傾斜地)

土砂災害警戒区域(急傾斜地)

洪水災害  
浸水想定区域 凡例

10.0～20.0m未満の区域

5.0～10.0m未満の区域

3.0～5.0m未満の区域

0.5～3.0m未満の区域

0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
氾濫想定区域凡例

氾濫流

河川堤防の決壊又は洪水氾濫により、  
木造家屋の倒壊のおそれがある区域

河岸侵食

洪水時の河岸侵食により、木造・非木造の  
家屋倒壊のおそれがある区域

消防設備

● 消 火 栓

● 防火水槽

過去の被害及び注意区域

土砂流出区域

過去の主な冠水・浸水区域

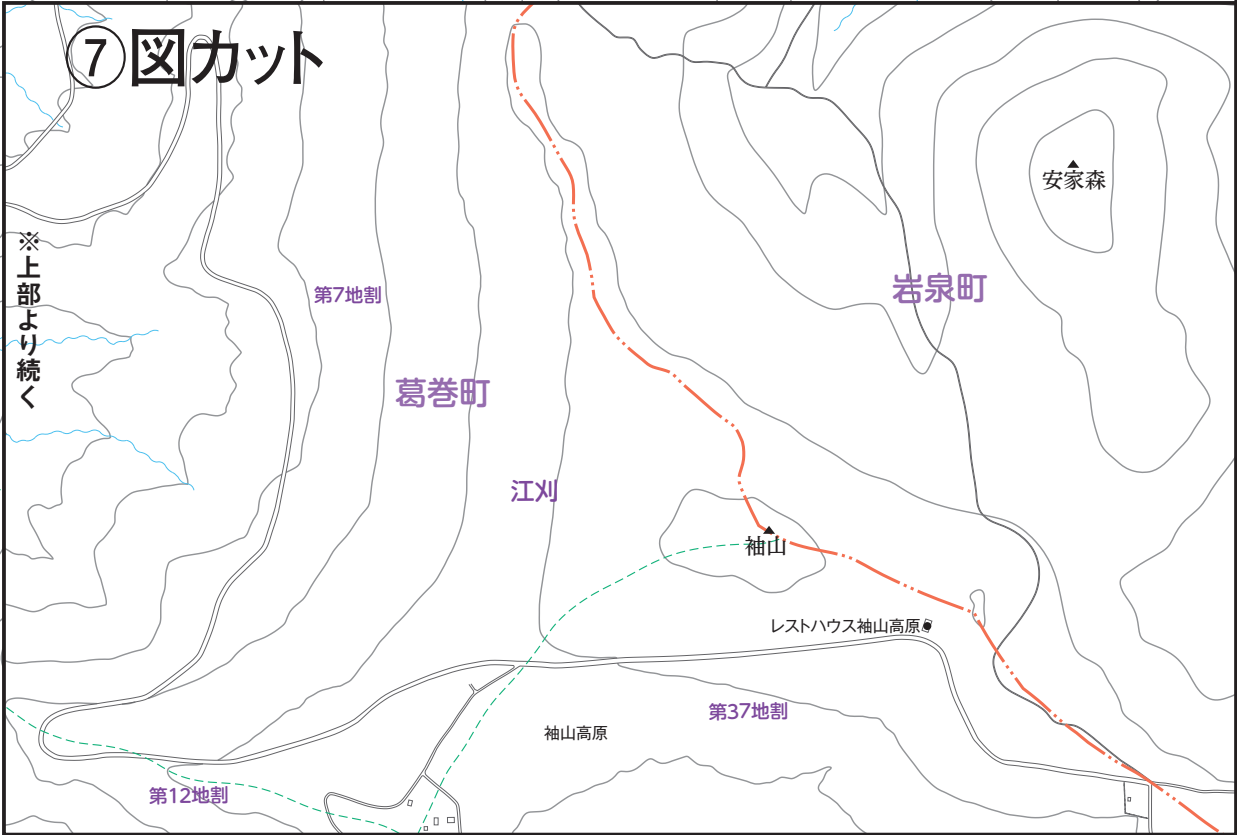
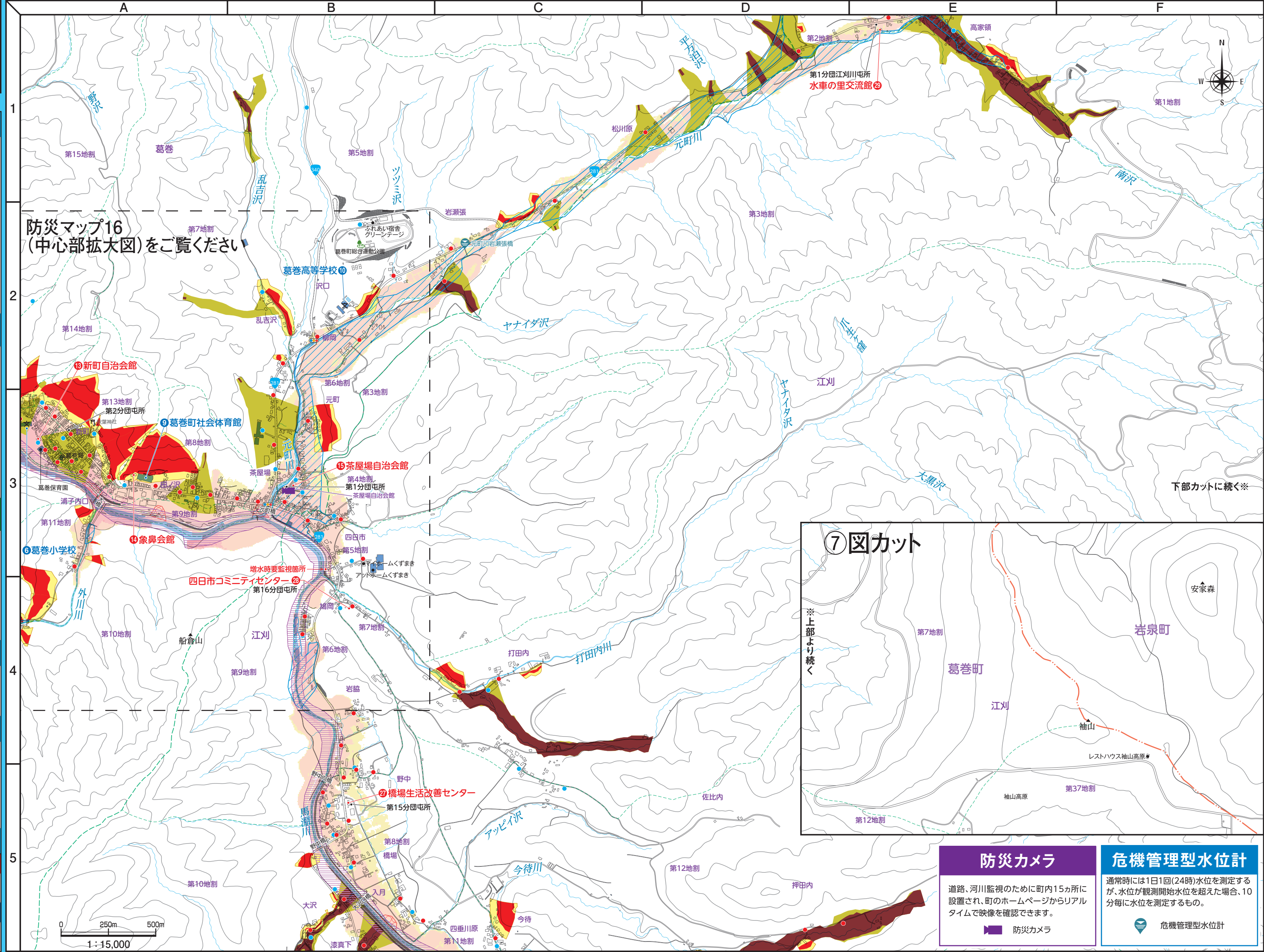
避難施設凡例

葛巻町指定緊急避難場所

1

葛巻町指定避難所

1



防災カメラ

道路、河川監視のために町内15ヵ所に設置され、町のホームページからリアルタイムで映像を確認できます。

防災カメラ

危機管理型水位計

通常時には1日1回(24時)水位を測定するが、水位が観測開始水位を超えた場合、10分毎に水位を測定するもの。

危機管理型水位計



	5	6
8	9	
	11	

**土砂災害 凡例**

土砂災害特別警戒区域 (土石流)

土砂災害警戒区域 (土石流)

土砂災害特別警戒区域 (急傾斜地)

土砂災害警戒区域 (急傾斜地)

**洪水災害 浸水想定区域 凡例**

10.0～20.0m未満の区域

5.0～10.0m未満の区域

3.0～5.0m未満の区域

0.5～3.0m未満の区域

0.5m未満の区域

**家屋倒壊等 氾濫想定区域 凡例**

氾濫流

河川堤防の決壊又は洪水氾濫により、木造家屋の倒壊のおそれがある区域

河岸侵食

洪水時の河岸侵食により、木造・非木造の家屋倒壊のおそれがある区域

**消防設備**

● 消火栓

● 防火水槽

**過去の被害及び注意区域**

土砂流出区域

過去の主な冠水・浸水区域

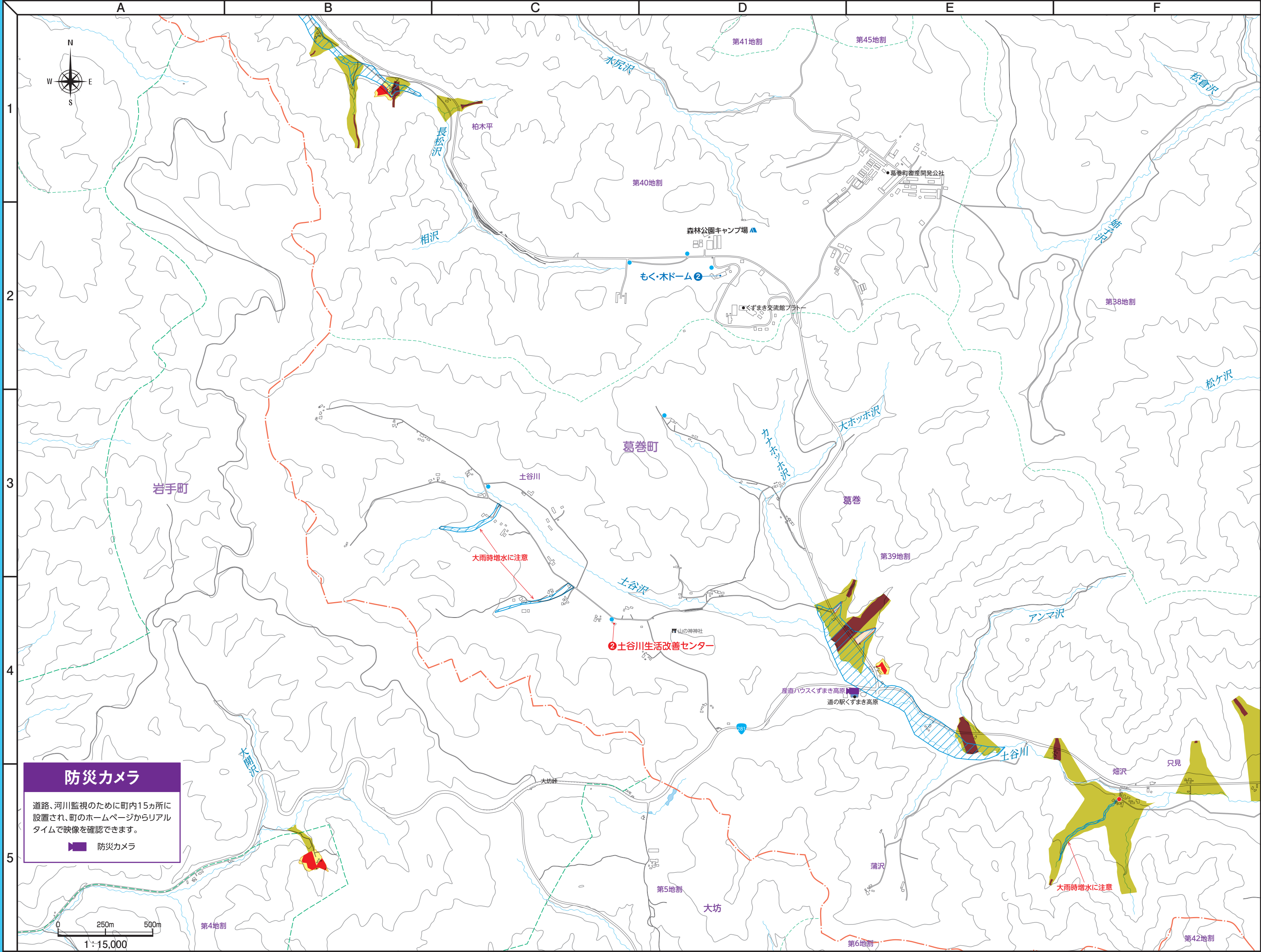
**避難施設 凡例**

葛巻町指定緊急避難場所

1

葛巻町指定避難所

1





5	6	7
8	9	10
	11	12

土砂災害 凡例

土砂災害特別警戒区域 (土石流)

土砂災害警戒区域 (土石流)

土砂災害特別警戒区域 (急傾斜地)

土砂災害警戒区域 (急傾斜地)

洪水災害 浸水想定区域 凡例

10.0～20.0m未満の区域

5.0～10.0m未満の区域

3.0～5.0m未満の区域

0.5～3.0m未満の区域

0.5m未満の区域

家屋倒壊等 氾濫想定区域 凡例

氾濫流

河川堤防の決壊又は洪水氾濫により、木造家屋の倒壊のおそれがある区域

河岸侵食

洪水時の河岸侵食により、木造・非木造の家屋倒壊のおそれがある区域

消防設備

● 消火栓

● 防火水槽

過去の被害及び注意区域

土砂流出区域

過去の主な冠水・浸水区域

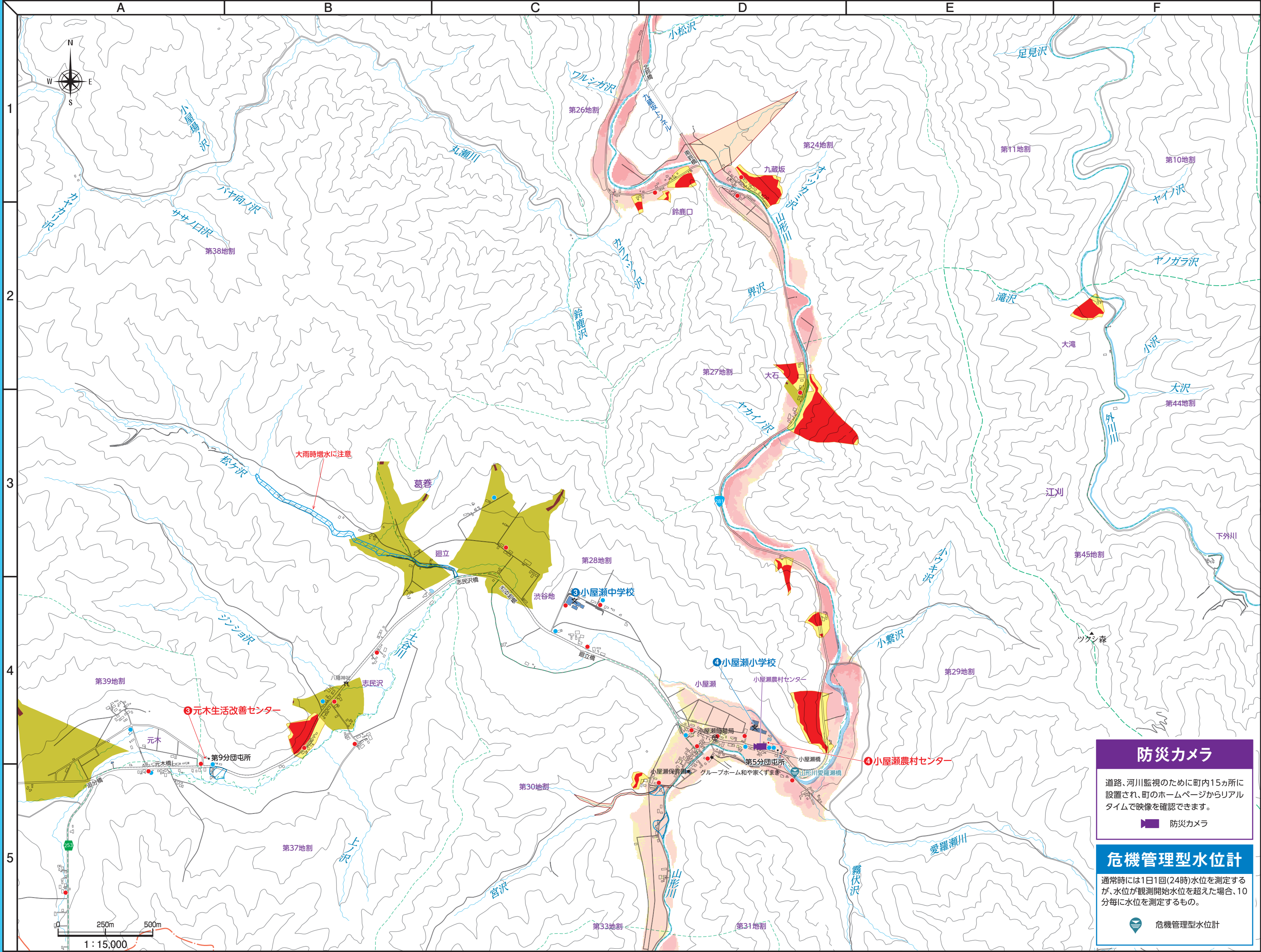
避難施設 凡例

葛巻町指定緊急避難場所

1

葛巻町指定避難所

1



防災カメラ

道路、河川監視のために町内15カ所に設置され、町のホームページからリアルタイムで映像を確認できます。

防災カメラ

危機管理型水位計

通常時には1日1回(24時)水位を測定するが、水位が観測開始水位を超えた場合、10分毎に水位を測定するもの。

危機管理型水位計



6	7	
9	10	
11	12	13

**土砂災害 凡例**

土砂災害特別警戒区域  
(土石流)

土砂災害警戒区域(土石流)

土砂災害特別警戒区域  
(急傾斜地)

土砂災害警戒区域(急傾斜地)

**洪水災害  
浸水想定区域 凡例**

10.0～20.0m未満の区域

5.0～10.0m未満の区域

3.0～5.0m未満の区域

0.5～3.0m未満の区域

0.5m未満の区域

**家屋倒壊等  
氾濫想定区域凡例**

氾濫流

河川堤防の決壊又は洪水氾濫により、  
木造家屋の倒壊のおそれがある区域

河岸侵食

洪水時の河岸侵食により、木造・非木造の  
家屋倒壊のおそれがある区域

**消防設備**

● 消 火 栓

● 防火水槽

**過去の被害及び注意区域**

土砂流出区域

過去の主な冠水・浸水区域

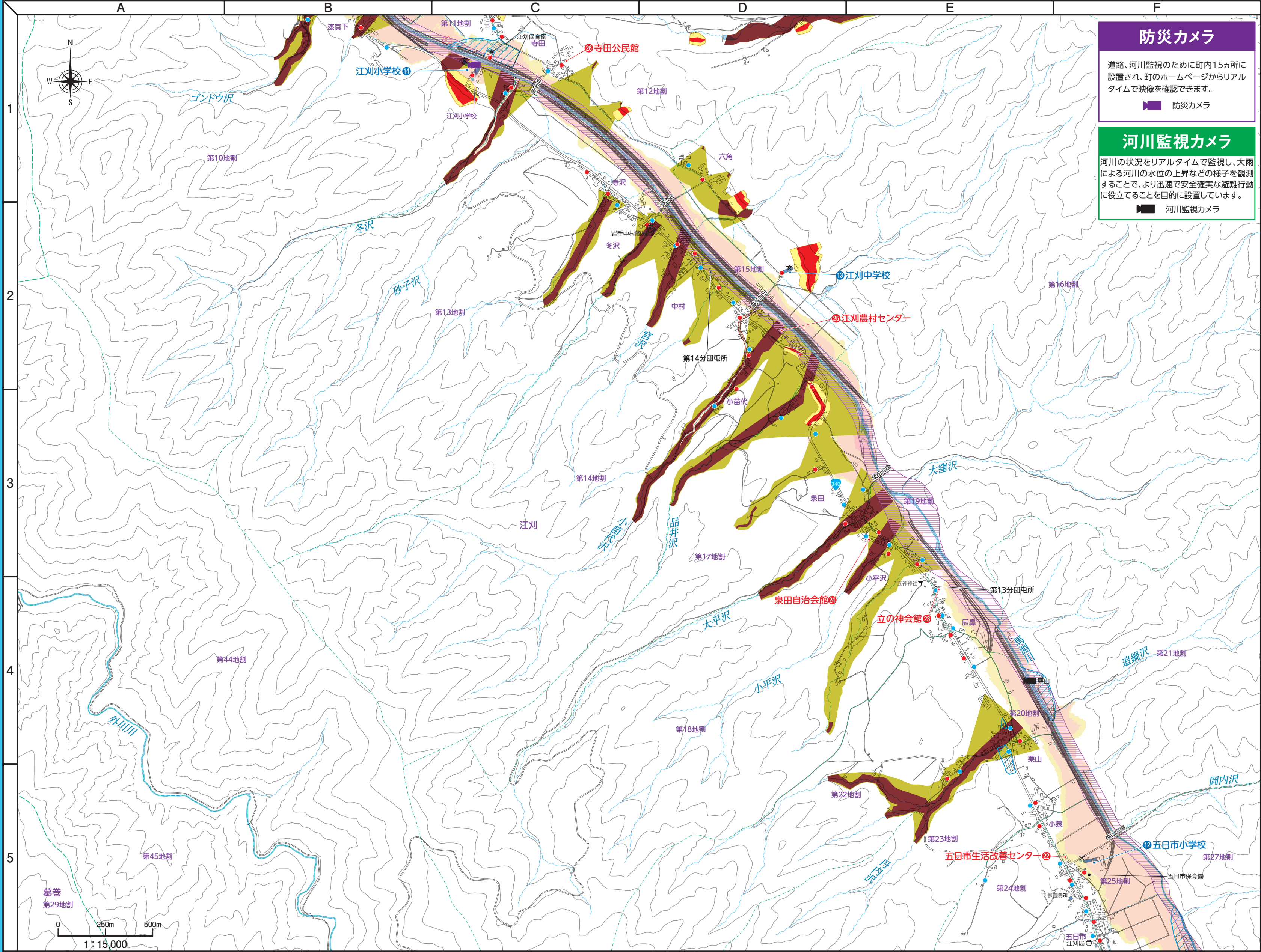
**避難施設凡例**

**葛巻町指定緊急避難場所**

**1**

**葛巻町指定避難所**

**1**



**防災カメラ**

道路、河川監視のために町内15ヵ所に設置され、町のホームページからリアルタイムで映像を確認できます。

■ 防災カメラ

**河川監視カメラ**

河川の状態をリアルタイムで監視し、大雨による河川の水位の上昇などの様子を観測することで、より迅速で安全確実な避難行動に役立てることを目的に設置しています。

■ 河川監視カメラ



8	9	10
	11	12
	14	15

**土砂災害 凡例**

土砂災害特別警戒区域 (土石流)

土砂災害警戒区域 (土石流)

土砂災害特別警戒区域 (急傾斜地)

土砂災害警戒区域 (急傾斜地)

**洪水災害 浸水想定区域 凡例**

10.0～20.0m未満の区域

5.0～10.0m未満の区域

3.0～5.0m未満の区域

0.5～3.0m未満の区域

0.5m未満の区域

**家屋倒壊等 氾濫想定区域 凡例**

氾濫流

河川堤防の決壊又は洪水氾濫により、木造家屋の倒壊のおそれがある区域

河岸侵食

洪水時の河岸侵食により、木造・非木造の家屋倒壊のおそれがある区域

**消防設備**

● 消火栓

● 防火水槽

**過去の被害及び注意区域**

土砂流出区域

過去の主な冠水・浸水区域

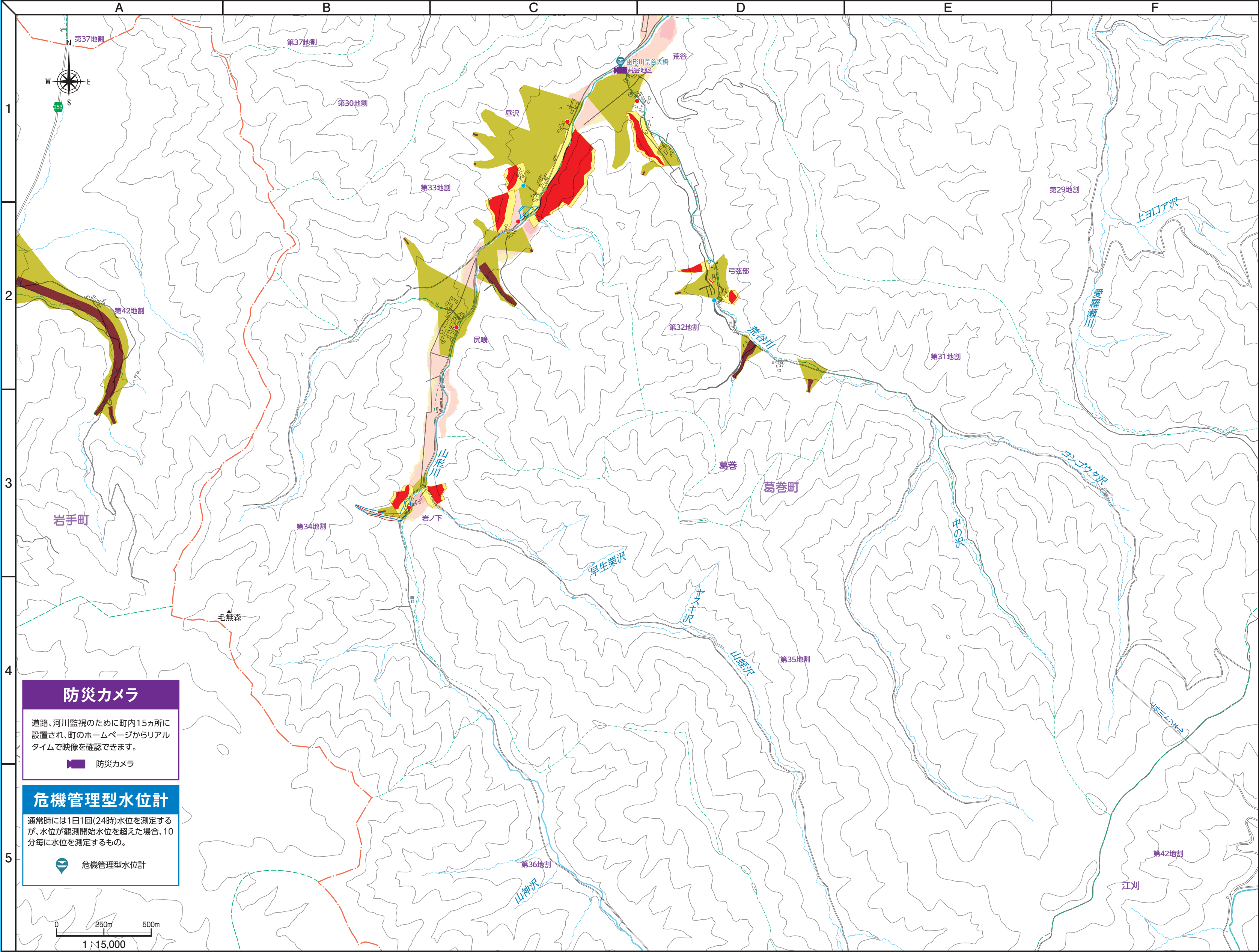
**避難施設 凡例**

葛巻町指定緊急避難場所

1

葛巻町指定避難所

1





9	10	
11	12	13
14	15	

**土砂災害 凡例**

土砂災害特別警戒区域  
(土石流)

土砂災害警戒区域(土石流)

土砂災害特別警戒区域  
(急傾斜地)

土砂災害警戒区域(急傾斜地)

**洪水災害  
浸水想定区域 凡例**

10.0～20.0m未満の区域

5.0～10.0m未満の区域

3.0～5.0m未満の区域

0.5～3.0m未満の区域

0.5m未満の区域

**家屋倒壊等  
氾濫想定区域凡例**

氾濫流

河川堤防の決壊又は洪水氾濫により、  
木造家屋の倒壊のおそれがある区域

河岸侵食

洪水時の河岸侵食により、木造・非木造の  
家屋倒壊のおそれがある区域

**消防設備**

● 消 火 栓

● 防火水槽

**過去の被害及び注意区域**

土砂流出区域

過去の主な冠水・浸水区域

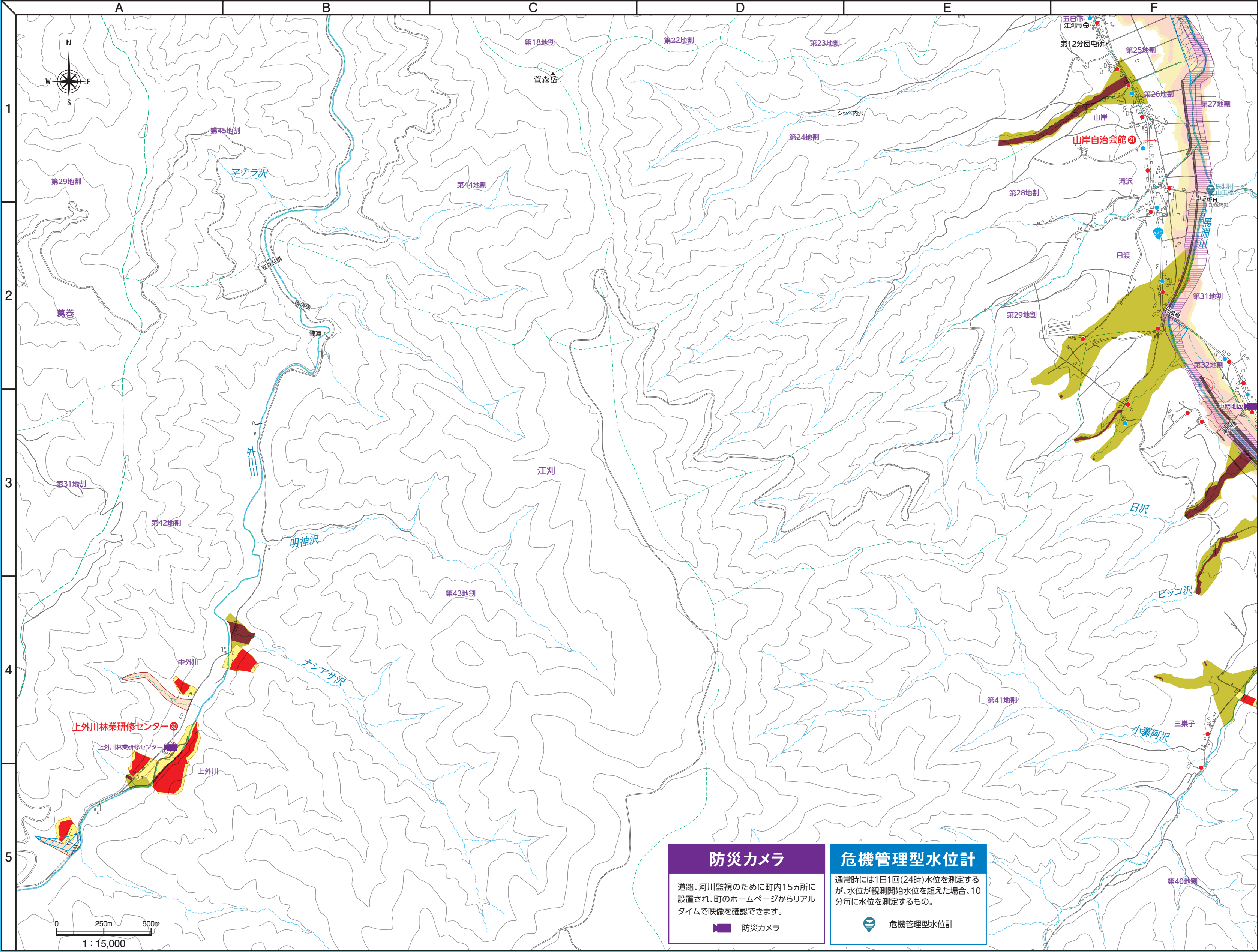
**避難施設凡例**

葛巻町指定緊急避難場所

1

葛巻町指定避難所

1



**防災カメラ**

道路、河川監視のために町内15カ所に設置され、町のホームページからリアルタイムで映像を確認できます。

防災カメラ

**危機管理型水位計**

通常時には1日1回(24時)水位を測定するが、水位が観測開始水位を超えた場合、10分毎に水位を測定するもの。

危機管理型水位計



10	
12	13
15	

土砂災害 凡例

土砂災害特別警戒区域 (土石流)

土砂災害警戒区域 (土石流)

土砂災害特別警戒区域 (急傾斜地)

土砂災害警戒区域 (急傾斜地)

洪水災害 浸水想定区域 凡例

10.0～20.0m未満の区域

5.0～10.0m未満の区域

3.0～5.0m未満の区域

0.5～3.0m未満の区域

0.5m未満の区域

家屋倒壊等 氾濫想定区域 凡例

氾濫流

河川堤防の決壊又は洪水氾濫により、木造家屋の倒壊のおそれがある区域

河岸侵食

洪水時の河岸侵食により、木造・非木造の家屋倒壊のおそれがある区域

消防設備

● 消火栓

● 防火水槽

過去の被害及び注意区域

土砂流出区域

過去の主な冠水・浸水区域

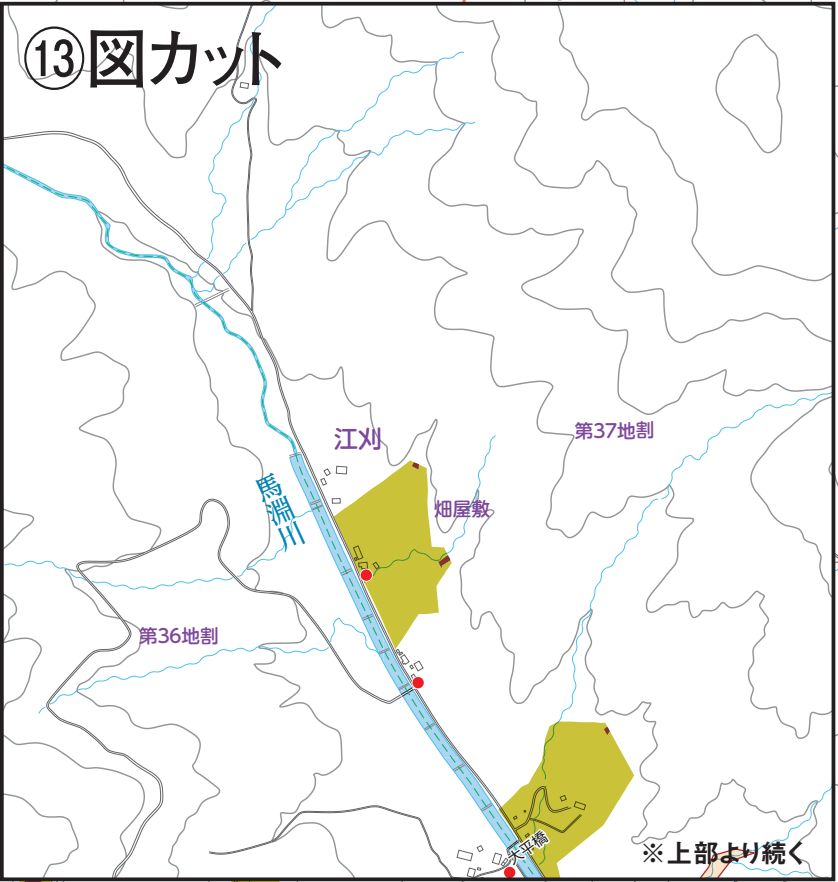
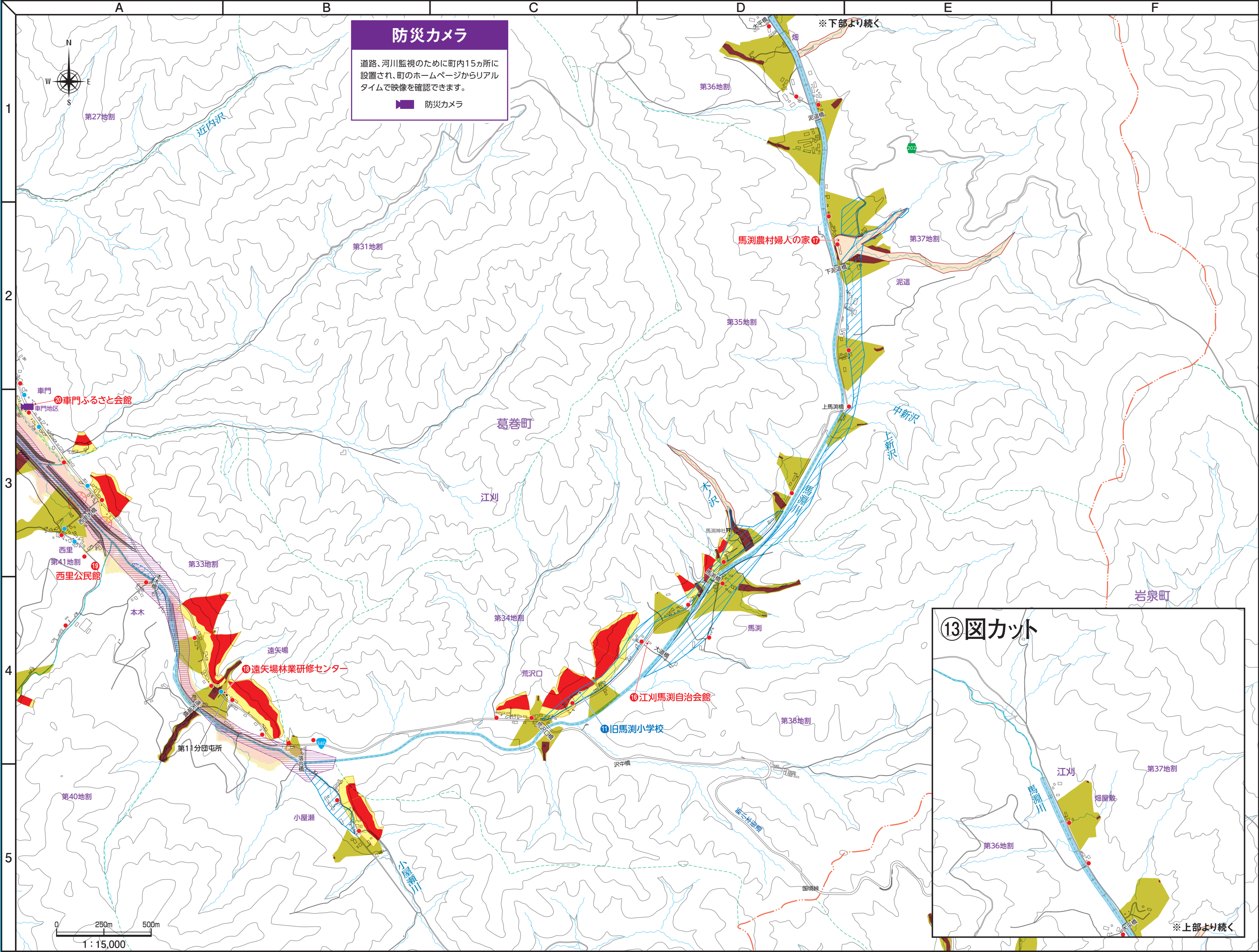
避難施設 凡例

葛巻町指定緊急避難場所

1

葛巻町指定避難所

1





土砂災害 凡例

土砂災害特別警戒区域  
(土石流)

土砂災害警戒区域(土石流)

土砂災害特別警戒区域  
(急傾斜地)

土砂災害警戒区域(急傾斜地)

洪水災害  
浸水想定区域 凡例

10.0～20.0m未満の区域

5.0～10.0m未満の区域

3.0～5.0m未満の区域

0.5～3.0m未満の区域

0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
氾濫想定区域凡例

氾濫流

河川堤防の決壊又は洪水氾濫により、  
木造家屋の倒壊のおそれがある区域

河岸侵食

洪水時の河岸侵食により、木造・非木造の  
家屋倒壊のおそれがある区域

消防設備

● 消 火 栓

● 防火水槽

過去の被害及び注意区域

土砂流出区域

過去の主な冠水・浸水区域

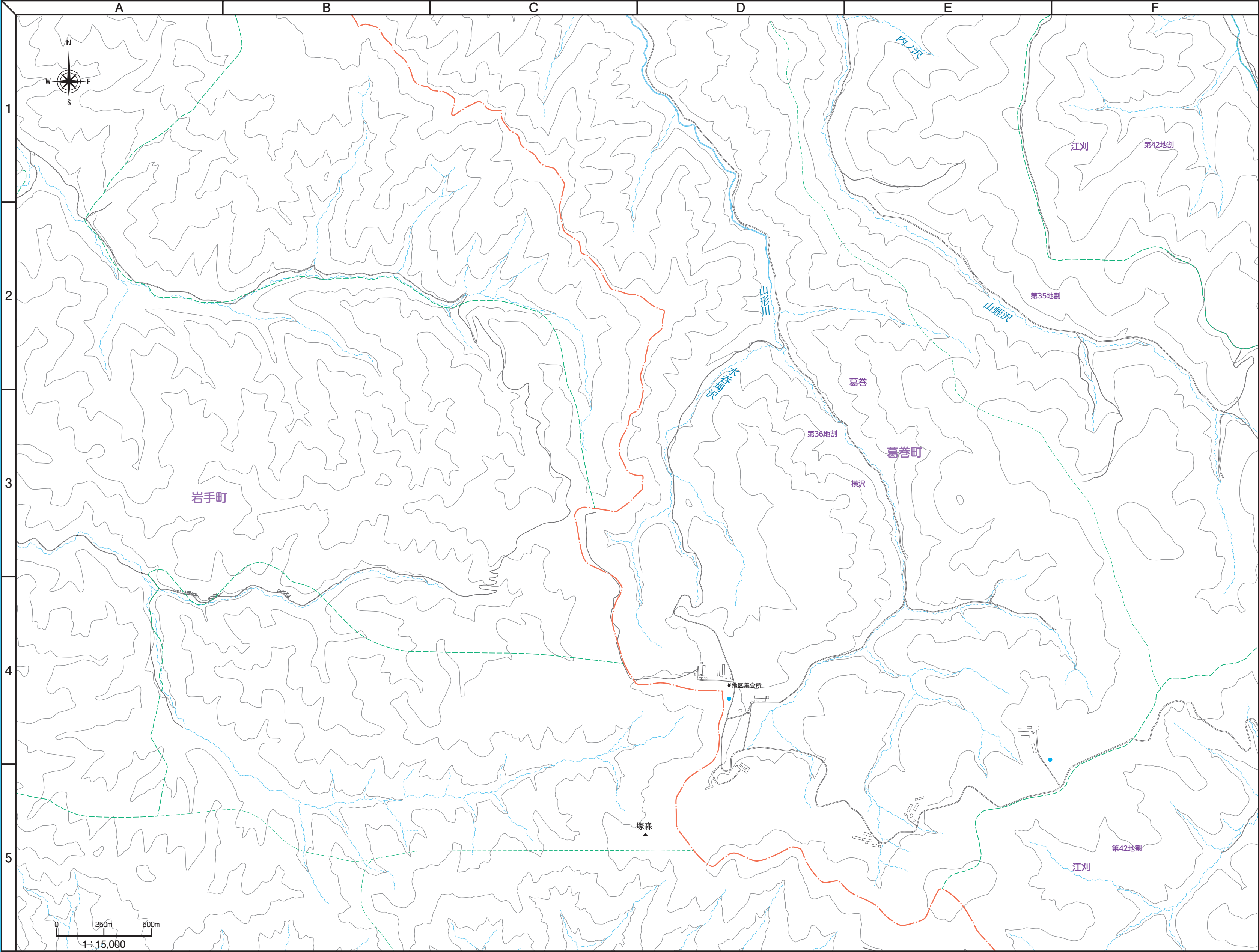
避難施設凡例

葛巻町指定緊急避難場所

1

葛巻町指定避難所

1





土砂災害 凡例

土砂災害特別警戒区域 (土石流)

土砂災害警戒区域 (土石流)

土砂災害特別警戒区域 (急傾斜地)

土砂災害警戒区域 (急傾斜地)

洪水災害 浸水想定区域 凡例

10.0～20.0m未満の区域

5.0～10.0m未満の区域

3.0～5.0m未満の区域

0.5～3.0m未満の区域

0.5m未満の区域

家屋倒壊等 氾濫想定区域 凡例

氾濫流

河川堤防の決壊又は洪水氾濫流により、木造家屋の倒壊のおそれがある区域

河岸侵食

洪水時の河岸侵食により、木造・非木造の家屋倒壊のおそれがある区域

消防設備

● 消火栓

● 防火水槽

過去の被害及び注意区域

土砂流出区域

過去の主な冠水・浸水区域

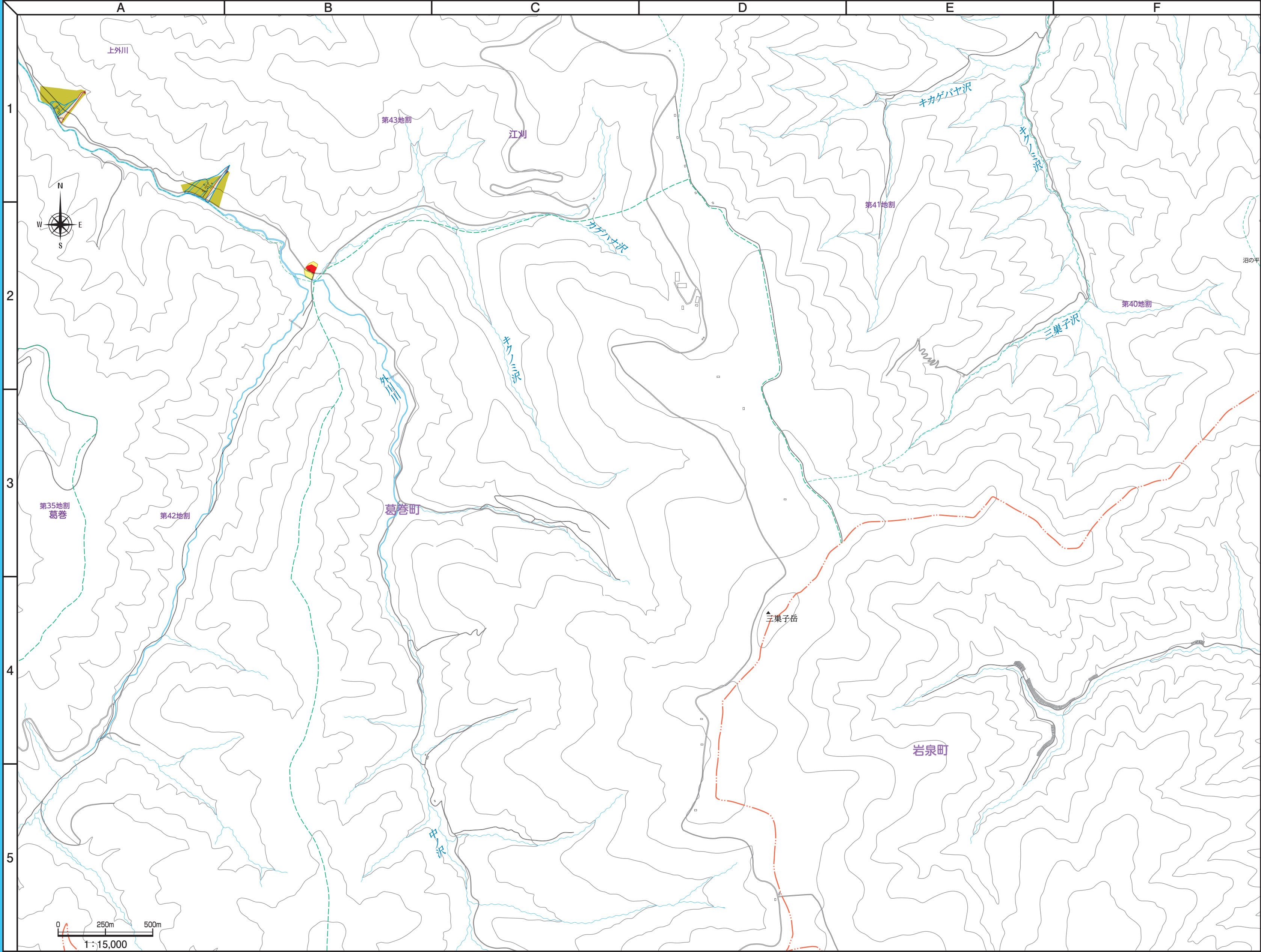
避難施設 凡例

葛巻町指定緊急避難場所

1

葛巻町指定避難所

1





**土砂災害 凡例**

土砂災害特別警戒区域  
(土石流)

土砂災害警戒区域(土石流)

土砂災害特別警戒区域  
(急傾斜地)

土砂災害警戒区域(急傾斜地)

**洪水災害  
浸水想定区域 凡例**

10.0～20.0m未満の区域

5.0～10.0m未満の区域

3.0～5.0m未満の区域

0.5～3.0m未満の区域

0.5m未満の区域

**家屋倒壊等  
氾濫想定区域凡例**

氾濫流

河川堤防の決壊又は洪水氾濫により、  
木造家屋の倒壊のおそれがある区域

河岸侵食

洪水時の河岸侵食により、木造・非木造の  
家屋倒壊のおそれがある区域

**消防設備**

● 消火栓

● 防火水槽

**過去の被害及び注意区域**

土砂流出区域

過去の主な冠水・浸水区域

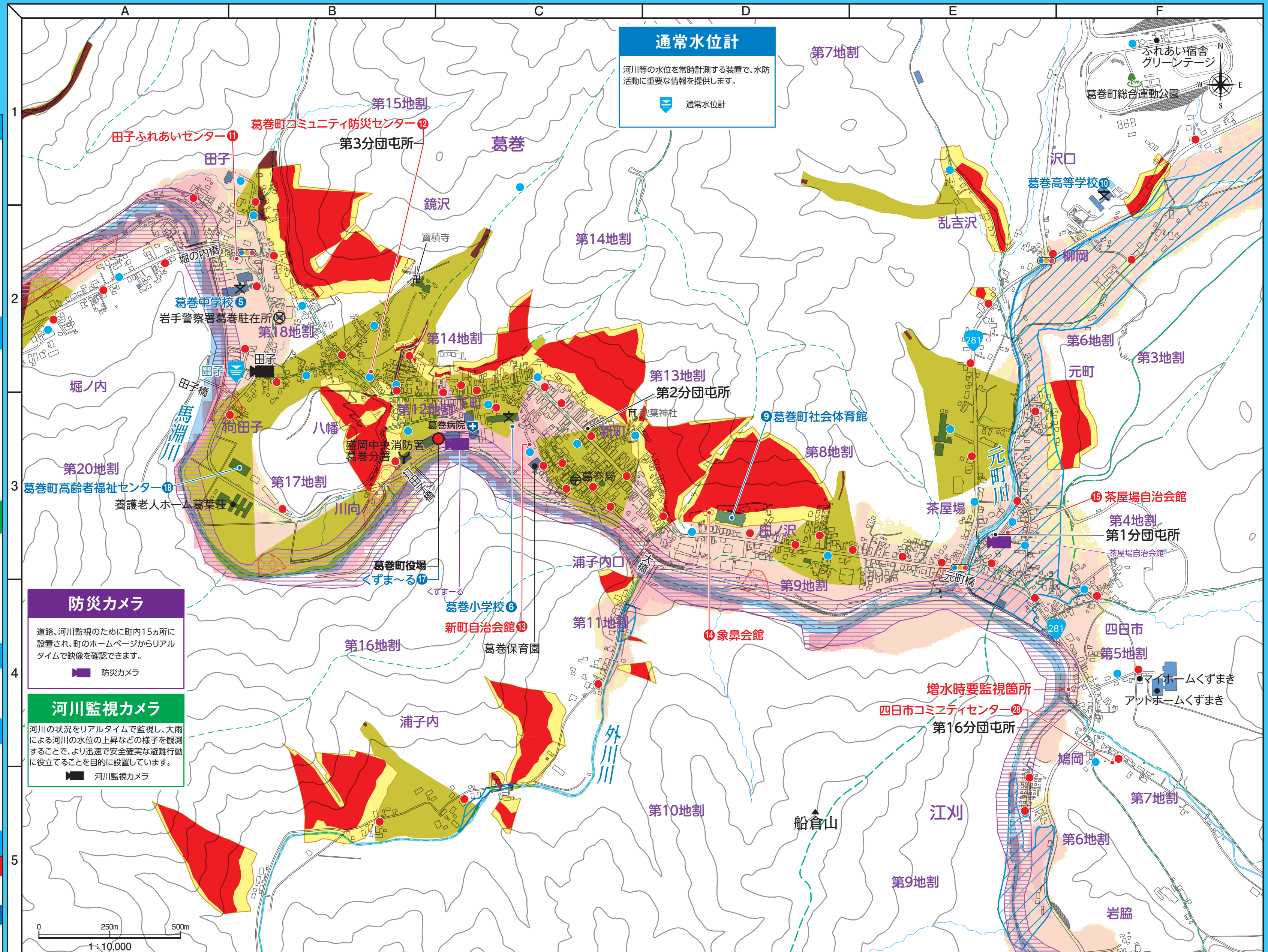
**避難施設凡例**

葛巻町指定緊急避難場所

1

葛巻町指定避難所

1



**通常水位計**

河川等の水位を常時計測する装置で、水防活動に重要な情報を提供します。

通常水位計

**防災カメラ**

道路、河川監視のために町内15カ所に設置され、町のホームページからリアルタイムで映像を確認できます。

防災カメラ

**河川監視カメラ**

河川の状態をリアルタイムで監視し、大雨による河川の水位の上昇などの様子を観測することで、より迅速で安全確実な避難行動に役立てることを目的に設置しています。

河川監視カメラ



## 情報収集方法

### 国交省「防災情報提供センター」

- <https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>
- 携帯電話から  
<https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>



### 国交省「川の防災情報」

<https://www.river.go.jp/>

### 国交省「デジタルハザードマップ」

<https://disaportal.gsi.go.jp/>



### 気象庁キキクル（危険度分布）

どこで土砂災害や浸水害・洪水の危険度が高まっているかを知ることが出来る、命を守るための情報です。

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>

### 盛岡地方気象台

<https://www.data.jma.go.jp/morioka/>



### 葛巻町ホームページ(防災情報)

<https://www.town.kuzumaki.lg.jp/bousai.html>



### いわて防災情報ポータル 県内の避難所情報等

<https://iwate-bousai.my.salesforce-sites.com/>

### いわてデジタルマップ

<https://www.sonicweb-asp.jp/iwate/>



### いわてモバイルメール

防災行政無線の放送内容を通知します。

### Yahoo! 防災タイムライン

災害時の避難計画を立てる簡単なアプリです。



### Yahoo! 防災アプリ

避難所開設情報などを通知するサービスです。



## 超高密度気象観測・情報提供（POTEKA）

町では、町内7箇所に気象観測用小型気象計を設置し、正確な気象情報をピンポイントで入手できるようにしました。いつでもどこでもリアルタイムで天候、気温、湿度、風向、風速、雨量などの情報を入手することが可能です。情報を入手する方法は、パソコンからは「POTEKANET（無料アプリ）」スマートフォンからは「MyPOTEKA（無料アプリ）」により閲覧（入手）することができます。

◎小型気象計設置場所は次のとおりです。

葛巻町役場、道の駅くずまき高原、小屋瀬農村センター、田野構造改善センター  
江刈農村センター、馬淵公民館、森の館ウッディ

## 防災関係機関連絡先

葛巻町役場	0195-66-2111(代)
葛巻町役場水道事業所	0195-65-8987
岩手警察署	0195-62-0110(代)
岩手警察署葛巻駐在所	0195-66-2609
盛岡中央消防署葛巻分署	0195-66-2709

緊急時 警察…110 消防…119

県央保健所	019-629-6565
岩手県復興防災部防災課	019-629-5155
盛岡広域振興局 岩手土木センター	0195-62-2888
東北電力ネットワーク (停電・緊急時)	0120-175-366

## 葛巻町防災マップ

令和8年5月

発行 葛巻町総務課  
葛巻町葛巻16-1-1  
TEL 0195-65-8982  
FAX 0195-65-8995

制作・著作 株式会社ゼンリン 盛岡営業所  
盛岡市中央通2丁目1番21号  
TEL 019-622-7230  
FAX 019-622-2115

無断で複写、転載することはご遠慮ください。著作権者に無断で本誌の全部、または一部を複製及び転載することは、著作権法により禁止されています。

「この地図の作成に当たっては、岩手県知事の承認を得て、5千分の1地形図を使用した。(令和6年2月5日森整第687号)」

「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5 JHs 167-523号」

「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5 JHs 168-243号」

本文中の地図は、弊社2025年5月発行の葛巻町住宅地図のデータをもとに作成しています。また、住宅地図による現地調査情報、編集独自の細かな情報も加えて制作しています。

作成には細心の注意を払い、編集作業を行っていますが、データ量は膨大であり、日々変化する現状と地図面が一致しない場合があります。また、目標物は見やすさを優先し、正式名称などを一部割愛して掲載しています。何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。